

第 I 部

政治

Part 1: POLITICS

第 I 部の概要

本文献解題の第 I 部には 2006 年から 2010 年にかけて報道された政治関連の雑誌記事索引を収録した。

テーマ別では、まず地方首長選や自治体分立などを扱った地方政治関連記事が数多く掲載された。地方首長選関連ではデポック市、ナングロ・アチェ・ダルサラーム州（以下、アチェ州と略）、ジャカルタ首都特別州、ジョグジャカルタ特別州、西ジャワ州、北スマトラ州、北マルク州などにおける選挙が報道されている。それらのなかには、暴動に発展したり、選挙結果への不満が裁判所に持ち込まれる事例もみられた。アチェ州においては、元・独立アチェ運動（GAM）出身の無所属候補者が州知事選に当選し、ジョグジャカルタ特別州では、スルタン・ハムクブウォノ侯とパク・アラム侯の指定席となっていた州知事・州副知事の公選制導入に関する議論が沸き起こった。一方、自治体の分立に関しては、前の 5 年間同様、2006 年以降も新自治体を設立する動きが続くことになった。なかには分立はしたものの、財政が悪化する自治体もみられる。2009 年には北スマトラ州からのタパヌリ州分立を望むグループが、議事延期に立腹して州議会に押し寄せ、その混乱のなかで議長が死亡する事件が発生している。中央政府内には分立の条件を厳しくする動きがあり、国の法律にそぐわない地方条例の却下も相次いでいる。しかし、中央や地方の政治家たちの勢力拡大や資源争奪を目指す動きを背景に、自治体分立の流れは続く傾向にある。

国政においては、2009 年総選挙に向けた各政党の動きや大統領選をめぐる各陣営の攻防に関して多くの記事が掲載された。大統領選では、ユドヨノ大統領が自らと組む副大統領候補者として、連立政党からではなくテクノクラートであるブディオノ中銀総裁を選んだことから、連立政党の一部で不満が高まった。副大統領就任後も、前年の世界経済危機の影響で経営破綻したセンチュリー銀行に多額の公的資金を注入した政府決定の妥当性や不透明性が指摘された問題で、当時の中銀総裁としての責任を問われ、スリ・ムルヤニ蔵相とともに国民の批判にさらされた。

2000 年代前半に毎年のように発生していた爆弾テロは、治安当局の徹底した取り締まりによって大幅に減少し、2009 年 7 月に発生したリッツ、マリオット両ホテルにおける同時爆弾テロの死者 9 人が突出して見える状況に押さえられた。大物テロリストで指名手配中だったヌールディン・トップは、2009 年 9 月に警察のテロ対策部隊に殺害され、治安当局は所有物のコンピュータから急進派テロリストの情報を得ることに成功した。また、2007 年 6 月にはテロ組織ジャマア・イスラミア（JI）幹部アブ・ドゥジャナが逮捕され、2010 年 3 月にはバリ島爆弾テロ容疑者ドゥルマティンが警察当局によって殺害されている。この 5 年間は、政府のテロ対策に一定の効果が上がった時期といえる。

2004 年に起った人権活動家ムニール殺害事件は国内外の大きな注目を集め、容疑者の裁判へと進んだが、黒幕と目された元陸軍将校が無罪放免となったことにより、真相はまだ解明されていない。内外の人権団体からは、調査の継続に対する強い要望がある。

以下、年ごとにいくつかの記事を紹介したい。

まず、2006年には1998年5月の政変に関するハビビ元大統領の回顧本が議論を呼び、政変の真相を探る関連書出版の呼び水となった。8月には2000年5月に発生した第3次ポソ暴動の首謀者3人への死刑が執行された。中スラウェシ州のポソでは、年の終わりから翌年の初めにかけて警察との銃撃戦を伴う暴動が頻発した。

2007年5月にはユドヨノ内閣最初の内閣改造が実施され、新大臣の指名に注目が集まった。8月にはジャカルタ州知事選が実施され、スティヨソに替わる新首長としてファウジ・ボウォが選出された。2009年の総選挙を見据えた動きも活発化し、大統領候補として幾人かの名前が挙がった。12月には後に会社社長殺害の容疑者として逮捕されることになるアンタサリ・アズハルが汚職撲滅委員会の新委員長に選出された。

翌2008年に入ると、入院中のスハルト元大統領の容態が悪化の一途をたどり、1月27日に死去した。スハルト家と政府との間では、不正蓄財によって得た資産の返還をめぐる駆け引きが生じると共に、30年以上にわたってインドネシアを統治したスハルトの功罪について多くの記事が書かれた。4月には民族覚醒党の内紛が生じ、ムハイミン派とワヒド派に分断された結果、2009年総選挙で同党の得票率を大幅に減らす一因となった。2008年6月にはイスラム急進派が異端とみなすアフマディヤ教徒やその支援者への攻撃事件が発生し、政府のアフマディヤ教への政策が急がれる要因となった。11月には200人以上の死者を出した第1次バリ島爆弾テロ首謀者3人への死刑が執行されている。

翌2009年は総選挙と大統領選関連記事が誌面を埋める状況が8月まで続くことになる。特に、大統領選をにらんだ政党間の候補者擁立の動きが多数報道された。選挙結果を受けた政党の全国大会関連記事では、アブリザル・バクリのゴルカル党党首選出に注目が集まった。10月からは第2期目に入った一致団結インドネシア内閣の組閣に焦点が当てられる一方、11月以降はセンチュリー銀行関連汚職疑惑事件を追及する政党間の駆け引きに関して多くの記事が掲載された。12月の世界反汚職デーには大規模なデモが発生し、ブディオノ副大統領とスリ・ムルヤニ蔵相への辞任圧力が高まることになった。

野党を中心にした副大統領と蔵相への辞任要求は2010年に入ってからも続いたが、5月の蔵相の辞任・世銀専務理事就任を境に報道数は減少した。同5月には連立政党合同事務局が設立され、政権の安定化が目指された。また、国会で最多議席を持つ民主主義者党の新党首としてアナス・ウルバニルムが選出され、2014年の大統領候補者の一人と目されることになった。テロ関係の動きとしては、4月にアチェ州における急進派テログループ再編の動きが報道され、9月にはテロ資金を得るためとの見方が強いメダンの銀行強盗事件が監視カメラの写真も付けて掲載された。

大統領が任命権を持つ軍、警察、司法機関のトップ人事に関しては、軍が2006年1月、警察庁長官、検事総長、ならびに汚職撲滅委員会委員長が2010年9月から11月にかけて注目を集めた。

2006 年 (政治)

1

Berebut kursi panas di Depok. (Hukum)

Tempo 34(46) Jan. 15, 2006: p.90-95

デポック市長選投票結果をめぐる対立と抗争が激化。ヌール・マフムディ新市長の就任式を前に、バドルル・カマルが憲法裁へ告訴。党の命令か。前年 6 月以降の経緯を解説。

2

Pemekaran dan intrik politik. (Fokus)

Forum keadilan 15(37) Jan. 15, 2006: p.37-45

州および県・市の分立の背後にみえ隠れする資源争奪の画策。アチェ、マルク、パプアの事例を歴史的に振り返る。

3

Guten Morgen, Kang Genong! (Selingan)

Tempo 34(47) Jan. 22, 2006: p.[59]-66, 68-69

9.30 事件に関わったとされ、国外逃亡を余儀なくされたインドネシア人たちの現在。ベルリンとプラハからの報告。

4

Kabinet alternatif ala Mega. (Nasional)

Forum keadilan 15(38) Jan. 22, 2006: p.82-85

闘争民主党 33 周年記念日に自党を野党と位置付けたメガワティ党首。同党幹部に野党構想の背景を聞く。

5

Menghindari “matahari kembar” di tubuh

TNI. (Forum utama) Forum keadilan 15(39) Jan. 29, 2006: p.11-21

ジョコ・スヤント空軍大将の次期国軍司令官就任が確定的に。政府が氏を選択した理由と闘争民主党幹部の見解。

6

SBY dan konsolidasi Akabri 73 – Para

taruna, 33 tahun kemudian. (Laporan utama) Tempo 34(50) Feb. 12, 2006: p.26-32

ジョコ・スヤント空軍大将の国軍司令官就

任を国会が承認。国軍士官学校 1973 年卒が要職を占める現状は将来何をもたらすか。

7

Juwono Sudarsono – “Praktek titipan itu tetap ada.” (Wawancara) Tempo 34(50)

Feb. 12, 2006: p.38-42

1999～2000 年に続いて 2 回目の国防相を務めるユウォノ・スダルソノへのインタビュー。国軍予算、パプアの治安、国軍ビジネス。

8

Nurmahmudi Ismail – “Semua tender akan transparan.” (Wawancara) Tempo

34(51) Feb. 19, 2006: p.46-48, 50

デポック新市長に就任したヌールマフムディが語る今後 5 年間の市政の抱負。イスラム法の導入はあるか。

9

Bila lembaga tinggi bersengketa – Perseteruan tata negara tanpa akhir.

(Fokus) Forum keadilan 15(42) Feb. 19, 2006: p.37-45

1945 年憲法の改正で最高国家機関ではなくなった国民協議会。3 つの新設高等国家機関が加わり、個々の権限をめぐる紛争が急増。

10

Mayjen (Purn.) Muchdi Purwopranjoto – “Saya belum ngamuk.” (Wawancara)

Tempo 34(52) Feb. 26, 2006: p.44-46, 48

ムニール殺害事件への関与が取り沙汰される元国家情報機関副長官へのインタビュー。

11

Da'i Bachtiar – “Untuk kasus BNI, saya sudah memberi arahan keras.”

(Wawancara) Forum keadilan 15(45) Mar. 12, 2006: p.62-66

前警察長官に在任中の爆弾テロ事件、アブ・バカル・バアシルの罪状、BNI 銀行汚職、他に関しインタビュー。

12

Sudir Santoso – “Kami boikot perintah dari pusat hingga ke camat.” (Wawancara)

Forum keadilan 15(46) Mar. 19, 2006:

- p.62-66
国会から大統領官邸まで抗議のロング・マーチを実施した全国村長連盟の議長に村落行政関連法律および政令の問題点を聞く。
- 13**
Menanti ajal “Kelelawar Hitam”. (Forum utama) Forum keadilan 15(49) Apr. 9, 2006: p.11-21
2000年の中スラウェシ州ポソ暴動首謀者3名に恩赦は下るか。ダ・シルバ死刑囚の親戚、死刑の早期執行を求めるイスラム教徒に聞く。
- 14**
Mencari keadilan dari prahara Poso. (Hukum) Tempo 35(7) Apr. 16, 2006: p.76-81
ポソ暴動の首謀者として刑執行が間近な3名の死刑囚。ここに至って疑問視される法プロセス。ティボ死刑囚へのインタビュー収録。
- 15**
Abdullah Sunata – “Teror itu lebih banyak mudaratnya.” (Wawancara) Tempo 35(11) May 14, 2006: p.52-54, 56
元アンボン・ムジャヒディン兵団司令官・アブドゥラ・スナタ服役囚がヌールディン・トップ、ジャマア・イスラミヤ (JI)、リベラル派イスラムを語ったインタビュー記事。
- 16**
Ketika anarki membakar demokrasi. (Fokus) Forum keadilan 16(4) May 21, 2006: p.37-45
労働法改正に反対する労働者たちが国会前でデモ。柵を破壊。東ジャワ州トゥバンでは県知事庁舎に住民が放火。各地で活発化する中央および地方政府への抗議行動。
- 17**
Negara kesatuan Sunda Nusantara – Meluruskan sejarah Indonesia. (Forum utama) Forum keadilan 16(6) June 4, 2006: p.11-21
スンダ人の国家を創る運動の実態。支部は西ジャワ各地に拡大し、会員は700名か。運動団体代表へのインタビュー収録。
- 18**
“Perang” antar sesama paramiliter – Melenggang dilanda Yogja. (Forum utama) Forum keadilan 16(7) June 11, 2006: p.11-21
緊張が高まるイスラム擁護戦線 (FPI) とワヒド元大統領擁護組織の関係。元大統領は聖典コラーンをポルノ的内容と発言。FPIの強圧的行動 (2001～2005年) の記録。
- 19**
Catatan harian Jabir – Mimpi seorang perangkai bom. (Laporan utama) Tempo 35(16) June 18, 2006: p.26-35
アザハリとヌールディン・トップに率いられたテロリストの日記の内容。死後明らかになったイスラムとジハード、家族への想い。
- 20**
Hidayat Nur Wahid – “Yang tidak suka syariat berlindung di balik Pancasila.” (Wawancara) Tempo 35(17) June 25, 2006: p.40-42, 44
国民協議会議長が最近復活しつつあるパンチャシラ (建国五原則) 関連議論の背景を語る。福祉正義党はイスラム法適用をどうみる。
- 21**
PKI bangkit lagi? (Fokus) Forum keadilan 16(9) June 25, 2006: p.37-45
国会議員の内150名が旧インドネシア共産党関係者? ボゴール宮殿では同党のシンボルマークの落書きを発見。1965年以降の歴史を振り返る。
- 22**
GAM dalam pilkada di Aceh – Belajar politik di Nanggroe. (Nasional) Tempo 35(18) July 2, 2006: p.26-30
地方首長選で独自候補を出さないことにした独立アチェ運動 (GAM)。しかし、個々人は引き手あまたに。開発統一党は政党人ではなく学者と GAM 関係者が正副候補に。活発化するアチェ行政法法案の議論。
- 23**
Noviantika Nasution – “Kelaparan itu tak wajar terjadi di Indonesia.” (Wawancara)

Forum keadilan 16(10) July 2, 2006: p.62-66

闘争民主党を脱党し、新党の幹部となった女性政治家に東インドネシアの飢餓、政治家の汚職、他の問題に関してインタビュー。

24

Senjata gelap – Warisan maut Jenderal Koes. (Laporan utama) Tempo 35(19) July 9, 2006: p.26-29, 31-[32]

2週間前に死亡した陸軍将校の家から大量の武器・弾薬を発見。陸軍は1年前から監視？

25

Irman Gusman – “Amanden UUD 1945 bukan untuk menambah kewenangan.” (Wawancara) Forum keadilan 16(11) July 9, 2006: p.62-66

地方代表議会の立法権は憲法に明記されるか。同議会副議長に憲法改正の要点を聞く。

26

Senjata gelap – Aksi jenderal di luar jalur. (Laporan utama) Tempo 35(20) July 16, 2006: p.26-28, 30, 32, 34-35

大量の武器発見で数十名の証人に事情聴取。不法にシンガポールから入手か。故クスマヤディ陸軍准将が調達した武器、戦闘機、他。

27

Juwono Sudarsono – “Kasus Koesmayadi karena sistemnya belum berjalan.” (Wawancara) Tempo 35(20) July 16, 2006: p.44-47

ユウォノ防衛相が武器の大量隠蔽所持問題の背景を語る。国軍出身の大統領の措置は？

28

Mafia penjual senjata – Menunggu kabar dari Cilangkap. (Forum utama) Forum keadilan 16(13) July 23, 2006: p.11-21

故クスマヤディ准将の私邸に集積された大量の武器弾薬の謎を追う。政商が関与か。トミー・ウィナタを名指しした国会議員に聞く。

29

Slamet Effendi Yusuf – “Saya ingin putusan ini yang pertama dan terakhir.”

(Wawancara) Forum keadilan 16(14) July 30, 2006: p.62-66

犯罪、法規違反などで国会議員1名を解職し、19名に制裁を与えた国会名誉機関。同機関の議長に国会議員の倫理コードを聞く。

30

Mayjend Nachrowi Ramli, SE – “Meniadakan Lembaga Sandi Negara sama halnya menghancurkan NKRI.” (Wawancara) Forum keadilan 16(15) Aug. 6, 2006: p.62-66

国家暗号機関が治安、学術面で果たす役割、国家情報機関との関係、他を同機関長に聞く。

31

Hasyim Muzadi – “Kalau dibiarkan, negara bisa bubrah...” (Wawancara) Tempo 35(24) Aug. 13, 2006: p.40-42, 44
ナフダトゥール・ウラマ (NU) 総裁が、イスラム法の適用を行う地方自治体の動きを批判。国家統合の維持に関する NU の立場。

32

Eros Djarot – “Saya pernah difitnah jadi gigolonya Megawati.” (Wawancara) Forum keadilan 16(16) Aug. 13, 2006: p.62-66

かつて闘争民主党を立ち上げたエロス・ジャロットが、新党 (PNBK) を設立した背景、メガワティとの関係、憲法観、他を語る。

33

Prof. Dr. Dimiyati Hartono, SH – “Perlu restorasi Amandemen UUD 1945.” (Wawancara) Forum keadilan 16(17) Aug. 20, 2006: p.62-66

憲法学者が1945年憲法改正によって生み出された問題点を語ったインタビュー記事。

34

Arief Budiman – “Nasionalisme kita makin beragam.” (Wawancara) Forum keadilan 16(18) Aug. 27, 2006: p.62-66

社会学者アリフ・ブディマンが分離独立運動、イスラム過激派、憲法改正、2009年総選挙、地方分権化を語ったインタビュー記事。

35

Menjelang perebutan DKI-1 – Tergiuur kursi gubernur. (Laporan utama) Tempo 35(28) Sept. 10, 2006: p.28-37
2007年のジャカルタ首都特別州知事選挙を前に下馬評に挙がる6名の有力候補者たち。その職歴、学歴、資産額、他。

36

Ada Golkar dan Demokrat di TVRI. (Forum utama) Forum keadilan 16(20) Sept. 10, 2006: p.11-21
インドネシア国営テレビ会社の役員として党員を送り込んだゴルカル党と民主主義者党。今も民放を支配するスハルト政権期の政治家と権力者たち。その構造を探る。

37

Teroris baru bangkit – Kitab baru sang teroris. (Laporan utama) Tempo 35(29) Sept. 17, 2006: p.26-30, 32-37
テロ多発シーズン(8~11月)に入り、最近出回っているテロ・ガイドブックの内容を警察が公開。ヌールディン・トップが隠れるアジトと他の重要人物の居所を推測。

38

Tragedi bom dalam segenggam surga. (Fokus) Forum keadilan 16(21) Sept. 17, 2006: p.37-45
テロリスト・ヌールディン・トップが登場するビデオに対する国内イスラム指導者の反応。1976年以降の爆弾テロ事件を振り返る。

39

Jaksa Agung vs komisi III – Tak ada rotan, Rusdi pun jadi. (Forum utama) Forum keadilan 16(22) Sept. 24, 2006: p.11-21
ジャカルタ高検長官の停職処分をめぐって国会の第3委員会と検事総長との間に走る緊張。委員会とは不統一で声高なのは元弁護士だけか。

40

Tjahjo Kumolo – “Yang penting perampangan kabinet.” (Wawancara) Forum keadilan 16(22) Sept. 24, 2006: p.62-66

闘争民主党は近く実施されると噂される内閣改造人事にどう対応? 同会派議長に聞く。

41

Menghitung dana parpol. (Forum utama) Forum keadilan 16(23) Oct. 1, 2006: p.11-22
不備が多数発見された各政党の会計報告。入金者不明の政治献金、領収書なしの支出金が出積。必要とされる無期限の会計検査。

42

Kudeta nih... – Bara dari buku Habibie. (Laporan utama) Tempo 35(32) Oct. 8, 2006: p.[26]-30, 32-39
ハビビ元大統領が著した1998年5月政変回顧本をプラボウォ退役陸軍中將が批判。退役中將へのインタビューおよび政変劇を間近にみた他の4将校(スバグヤ、ムフディ、シヤフリー、キヴラン・ゼン)の証言も収録。

43

Marsekal TNI Djoko Suyanto – “Harus ada yang terus memonitor reformasi TNI.” (Wawancara) Tempo 35(32) Oct. 8, 2006: p.[44]-46, 48
空軍最初の国軍司令官、ジョコ・スヤント空軍大將に軍政関係、軍とビジネス、国軍予算などに関しインタビュー。

44

Din Syamsuddin – “Bantuan AS untuk redam radikalisme Islam tak perlu ditolak.” (Wawancara) Forum keadilan 16(24) Oct. 8, 2006: p.62-66
インドネシア・ウラマ協議会副議長に米国の反テロ政策、インドネシア人学生への奨学金増強、喜捨の分配法、他を聞く。

45

Buku B. J. Habibie – Satu babak sebelum lengser. (Laporan utama) Tempo 35(33) Oct. 15, 2006: p.26-37
スハルト辞任劇に関し、いくつかの新解釈を提示したハビビ元大統領の政変回顧本。国軍が政権交代を加速化? ウィラント元国軍司令官に聞く。写真多数収録。

46

Topan dalam gelas – Di balik kontroversial buku karya Habibie. (Fokus) Forum keadilan 16(25) Oct. 15, 2006: p.37-45

ハビビ元大統領が著し、大きな波紋を呼び続ける 1998 年 5 月政変の回顧本。最も重要な点で分裂する当時の軍エリートの見解。

47

Kasus Munir – Upaya baru kasus Munir. (Nasional) Tempo 35(34) Oct. 22, 2006: p.[26]-28, 30, 32-34, 36-37

人権活動家ムニール毒殺事件で最高裁がポリカルプス容疑者を放免。その後、警察が調査チームを編成。砒素を入れたのは誰か。取調べられた 6 人を顔写真入りで紹介。

48

Hikmah vonis MA – Setelah Polycarpus dibebaskan. (Forum utama) Forum keadilan 16(26) Oct. 22, 2006: p.11-21

人権活動家ムニール毒殺に外国の介入はあったか。警察本庁発表 15 項目の矛盾点。

49

Pramono Agung Wibowo – “...kita bisa tiru Cina.” (Wawancara) Forum keadilan 16(26) Oct. 22, 2006: p.64-68

闘争民主党幹事長が 2009 年総選挙を見据えて党の戦略を語ったインタビュー記事。

50

2 tahun pemerintahan SBY-JK. (Politik dan hukum) Tempo 35(35) Oct. 29, 2006: p.104-106, 108-123

政治、法律面におけるユドヨノ政権の 2 年間の実績を評価。汚職、法の確立、子供と女性、地方、治安・防衛、報道の自由に関する公約はどの程度達成されたか。5 名の専門家によるコラムも収録。

51

Jusuf Kalla – “Ini duet, bukan duel.” (Wawancara) Tempo 35(35) Oct. 29, 2006: p.124-126, 128

ユスフ・カラ副大統領に政治の諸問題、ユドヨノ大統領との関係、他をインタビュー。

52

Otonomi daerah – Masihkah gamang. (Info Tempo) Tempo 35(35) Oct. 29, 2006: p.[131]-[135], [144]

地方分権化の本格開始から約 6 年が経過し、地方はどのように変わったか。現状を点検。

53

Poso, sewindu dirunding duka. (Fokus) Forum keadilan 16(27) Nov. 12, 2006: p.37-45

ポソで警察と住民の銃撃戦が勃発。テロリストが手引き？全面解決はいつになるのか。1998 年以降のテロ、襲撃事件を振り返る。

54

Agun Gunandjar Sudarsa, Msi – “Anggota DPR yang bagi-bagi voucher yang pantas direcall.” (Wawancara) Forum keadilan 16(27) Nov. 12, 2006: p.62-66

国会議長が学校援助用の商品引換券を政治目的で配布？最も厳しく批判するゴルカル党会派の一議員にその問題点を聞く。

55

Perseteruan SBY-JK – Satu kapal dua nakhoda. (Laporan utama) Tempo 35(38) Nov. 19, 2006: p.26-[30], 32-37

大統領専属機関 (UKP3R) をめぐって正・副大統領間の関係が悪化？9 月末以降の動きを追う。識者の意見、ゴルカル党の反応。

56

Di Senayan, Agung Laksono digoyang-goyang. (Forum utama) Forum keadilan 16(28) Nov. 19, 2006: p.11-21

アグン・ラクソノ国会議長を代表とする国会指導部の再編を要求する国会各会派。開発統一党と民主主義者党の幹部に聞く。

57

Agung Laksono – “Kalau itu terjadi, ketuanya tetap dari Partai Golkar.” (Wawancara) Forum keadilan 16(28) Nov. 19, 2006: p.24-28

商品券配布問題で批判の矢面に立つアグン・ラクソノ国会議長へのインタビュー。

58

Makin jinak setelah rapimnas. (Nasional)
Tempo 35(39) Nov. 26, 2006: p.32-36

ゴルカル党全国レベル指導部会議でカラ党首は指導力を示せたか。地方支部の発言力を示す国会議席数と県・市レベルの支部数。

59

Agung Laksono – “Partai Golkar bukan seperti kapal pecah.” (Wawancara)
Tempo 35(39) Nov. 26, 2006: p.46-48, 50

ゴルカル党副党首で国会議長を務めるアグン・ラクソノに党の方針、大統領との関係、大統領専属機関などに関しインタビュー。

60

Pilkada Nanggroe Aceh Darussalam – Berpacu ke pucuk Tanah Rencong. (Nasional) Tempo 35(40) Dec. 3, 2006: p.26-28, 30-31

正・副知事候補が8組出揃ったアチェ。政党が支持する候補が5組、元分離独立派は分裂。各国から選挙監視団も到着。

61

Usman Hamid – “Masih jalan di tempat.” (Wawancara) Forum keadilan 16(31) Dec. 10, 2006: p.62-66

政治活動家への暴力や行方不明者の捜索を行う人権 NGO コントラス代表に聞く。

62

Pilkada NAD – Dari bedil ke bilik suara. (Nasional) Tempo 35(42) Dec. 17, 2006: p.36-39

ゲリラ戦から政治の世界に入った元分離独立派。19 県・市中 15 県・市に支持候補を擁立。任務が完了したアチェ・モニタリング・ミッションの P・C・フィース氏に聞く。

63

Injury time Wakapolri. (Forum utama) Forum keadilan 16(32) Dec. 17, 2006: p.11-21

ジャカルタ首都特別州知事選に出馬予定の警察副長官。早期退職の合法性に関して高まる議論。

64

Pilkada Nanggroe Aceh Darussalam – Buah gerilya Panglima Sagoe. (Nasional) Tempo 35(43) Dec. 24, 2006: p.22-24, 26, 28

元分離独立派の州知事候補が当選したアチェ。村レベルでの選挙戦が功を奏した？勝利したイルワンディ・ユスフ氏に聞く。

65

Kemenangan calon independen – Kabar menghentak dari serambi. (Forum utama) Forum keadilan 16(33) Dec. 24, 2006: p.11-21

アチェ地方首長選で勝利した GAM 出身候補者。イルワンディ・ユスフ新知事のプロフィールを紹介。

66

Partai agresif di antara rakyat frigid. (Fokus) Forum keadilan 16(34) Dec. 31, 2006: p.37-45

2009 年の総選挙を前に早くも始動する各政党。27 新党の顔ぶれを紹介。有権者の目が冷ややかなのはなぜか。

67

Sutradara Ginting – “...Negara sudah gagal.” (Wawancara) Forum keadilan 16(34) Dec. 31, 2006: p.62-66

インドネシアは失敗国家 (the fail state) か。闘争民主党会派国会議員が熱泥被害、アチェ、パプア、他の問題を批判。

2007年（政治）

68

Hidayat Nur Wahid – “Saya kasihan pada pimpinan MPR mendatang.” (Wawancara) Forum keadilan 16(36) Jan. 22, 2007: p.64-68
国民協議会（MPR）の機能と役割はどうあるべきか。MPR議長へのインタビュー。

69

Para penentang SBY – Tersengat gosip makar. (Laporan utama) Tempo 35(48) Jan. 28, 2007: p.26-33
— NGOが正副大統領の退陣を求めてデモ。背後で「革命評議会」の下で現政権に不満をもつ退役将校たちが結集か。

70

Isu Dewan Revolusi – Cabut mandat dan terputusnya komunikasi. (Forum keadilan) Forum keadilan 16(37) Jan. 29, 2007: p.11-21
活動家たちの批判にさらされる正・副大統領。統治委任権奪取の動きも発生。大統領府スポークスマンとNGO活動家に聞く。

71

15 Januari, 33 tahun lalu. (Fokus) Forum keadilan 16(37) Jan. 29, 2007: p.37-45
1974年1月15日のジャカルタ暴動（Malari）記念日に合わせて政府批判デモが発生。同暴動の経緯と背景を振り返る。

72

Sri Bintang Pamungkas – “Saya tidak percaya pada Susilo Bambang Yudhoyono.” (Wawancara) Forum keadilan 16(37) Jan. 29, 2007: p.60-64
政権批判で知られる元インドネシア民主連合党（PUDI）党首が現政権、総選挙、革命評議会、他について語ったインタビュー記事。

73

Rekonstruksi penyerbuan di Poso – Sepuluh jam di Tanah Runtuh. (Nasional) Tempo 35(49) Feb. 4, 2007: p.24-26, 28, 30-31

中スラウェシ州ポソで警察と武装集団が衝突。その後、700人の警官が銃撃戦の合間に家をしらみつぶしに捜査。16人は逃亡？

74

Bisnis senjata di jantung Poso. (Nasional) Tempo 35(50) Feb. 11, 2007: p.26-32, 34
9年におよぶポソ紛争で使われた武器の調達先はどこか。大規模な武器押収作戦後もポソには数百の銃火器と数千の弾薬が存在？

75

Irwandi Yusuf – “Sekarang saya terjajah.” (Wawancara) Tempo 36(1) Mar. 4, 2007: p.46-48, 50
イルワンディ・アチェ州知事に今後5年間の重要施策、旧分離独立派との関係を聞く。

76

Abu Rusdan – “Kehebatan Abu Dujana hanyalah imajinasi.” (Wawancara) Tempo 36(6) Apr. 8, 2007: p.46-[49]
ジョグジャカルタ特別州でテロ容疑者5人を逮捕。JIトップに近い幹部に聞く。

77

Jamaah Islamiyah – Komplotan baru ‘pak guru Dujana’. (Laporan utama) Tempo 36(7) Apr. 15, 2007: p.28-32, 34, 36, 38-39
ジョグジャカルタとスラバヤで計7人のテロ容疑者を逮捕。アブ・ドゥジョノ・グループと新しいJI軍事部門の構造を探る。

78

Laode Ida – “Mengubah konstitusi tidak haram.” (Wawancara) Forum keadilan 16(48) Apr. 16, 2007: p.60-64
第5次憲法改正は必要か否か。増加する改正支持会派。ラオデ・イダ地方代表議会副議長に聞く。

79

Fakta baru kasus Munir – Perjalanan terakhir di Coffee Bean. (Laporan utama) Tempo 36(8) Apr. 22, 2007: p.26-32, 34-37
機内ではなく、シンガポールでの乗り継ぎ時にムニール殺害が行われたと確信する警察。

真犯人追跡記録をリスト化。新たに浮かび上がるアンボン出身のミュージシャン。

80

Kambing hitam baru kasus Munir. (Forum utama) Forum keadilan 16(49) Apr. 23, 2007: p.11-21

ガルーダ航空の2人がムニール殺害事件に関与？依然として姿がみえない黒幕。同社の顧問弁護士に聞く。

81

Fakta baru kasus Munir – Operasi melenyapkan ‘kerikil’. (Laporan utama) Tempo 36(9) Apr. 29, 2007: p.26-35

チャンギ空港でムニールに何が起こったか。目撃者5人の証言。行方不明のミュージシャンは1990年代から軍諜報部と接触？

82

Nakhoda peragu di tengah badai. (Forum utama) Forum keadilan 17(1) Apr. 30, 2007: p.11-21

ユドヨノ政権の指導力を評価する。氏は優柔不断か。大統領府スポークスマン、NGO代表、元閣僚、それぞれの評価。

83

Mayor Jenderal TNI Rasyid Qurnuen A, S. IP, MSc. – “Kopassus juga belajar HAM.” (Wawancara) Forum keadilan 17(1) Apr. 30, 2007: p.60-64

創設55周年を迎えた陸軍特殊部隊。ラシッド現司令官にテロ対策、民主化と国軍の関係、他にに関してインタビュー。

84

Perombakan kabinet – Yang sakit, yang lamban, bukan yang korup. (Laporan utama) Tempo 36(10) May 6, 2007: p.26-32, 34-35

内閣改造で何人が閣外に出るか。政党の意見を聞かなければならない大統領と経済チームの評価を強調する副大統領。

85

Tamsil Linrung – “Bila memang tak serius, silakan diganti.” (Wawancara) Forum

keadilan 17(2) May 7, 2007: p.64-68

内閣改造に関する見解を福祉正義党議員に聞く。同党の現有閣僚数が増える可能性は？

86

Gubernur “beton” pilihan warga Jakarta. (Forum utama) Forum keadilan 17(3) May 14, 2007: p.11-21

迫るジャカルタ首都特別州知事選挙。フアウジ、アダンに続く第3の知事候補は必要か。各候補者と評論家に聞く。

87

Reshuffle kabinet – Karena politik, tekanan publik, dan klenik. (Nasional) Tempo 36(12) May 20, 2007: p.28-34, 36-39

内閣改造で5人の新大臣が誕生。そのプロフィールの紹介。NGOや大学へと活動の場を求める前大臣たち。

88

Jalan berliku mengupas tragedi Mei ’98. (Fokus) Forum keadilan 17(5) May 28, 2007: p.37-46

1998年のジャカルタ5月暴動から9年経過し、人権侵害レベルの評価が一致しない国会と最高検。ヘンダルマン検事総長に聞く。

89

Membakar lumbung untuk usir tikus. (Fokus) Forum keadilan 17(6) June 3, 2007: p.37-46

第5次憲法改正を要求する地方代表議会。同議会の権限の拡大が目的か。1945年憲法が辿った歴史を振り返る。

90

Abdul Hakim Garuda Nusantara – “Pidana mati tak sesuai Undang-Undang Dasar.” (Wawancara) Forum keadilan 17(6) June 3, 2007: p.60-64

圧倒的票数で国連人権委員会のメンバーに選出されたインドネシア。国家人権委員会は国内の重大人権侵害事件にどう対処するか。

91

Peluru marinir di lahan sengketa Alastlogo.

(Forum utama) Forum keadilan 17(7)
June 10, 2007: p.11-21

東部ジャワ州パスルアンで住民4名が銃弾を受け死亡。説得力のない国軍の弁明。土地紛争事件と関連？

92

Sarwono Kusumaatmadja – “Sekarang semuanya duit.” (Wawancara) Tempo 36(16) June 17, 2007: p.90-93

ジャカルタ首都特別州知事への立候補が取りざたされるサルウォノ元環境相に聞く。選挙を前にした政党の動きを解説。

93

Tertangkapnya Abu Dujana – Bunyi dor pada hari pencoblosan. (Laporan utama) Tempo 36(17) June 24, 2007: p.26-32, 34-41

警察が大物テロリストとして追跡していたアブ・ドゥジャナを逮捕。数時間後他の7人も逮捕し、武器弾薬を押収。アブ・ドゥジャナとその妻へのインタビュー記事収録。

94

Koalisi Banteng-Beringin – Cinta sesaat dua sejoli. (Laporan utama) Tempo 36(19) July 8, 2007: p.26-32, 34, 36-37

メダンにおけるゴルカル党と闘争民主党の会議で両党の連携は強化？アクバル前ゴルカル党党首は一社会団体を通して大統領に接近。

95

Djoko Susilo – “Interpelasi Lapindo bukan untuk mencari popularitas.” (Wawancara) Forum keadilan 17(11) July 8, 2007: p.60-64

熱泥被害問題に関して国会尋問権を提出？ゴルカル党と闘争民主党の連携はあるか。ジョコ・スシロ国民信託党会派国会議員に聞く。

96

Insiden pengibaran bendera RMS – Setelah tari itu dimainkan... (Nasional) Tempo 36(20) July 15, 2007: p.26-30, 32-33

大統領のアンボン訪問に合わせて各地で南マルク共和国支持者のデモが発生。28人の戦

士たちの予定外の舞踊では同共和国の国旗を翻す。治安関係者は互いに責任を擦り付け。

97

Pemilu 2009 – Menjegal ojek seharga Mercy. (Nasional) Tempo 36(22) July 29, 2007: p.106-108, 110

改正総選挙法案を通して中小政党の締め出しを試みる大政党の幹部たち。ロジ準備のため、法案成立を心待ちにする総選挙委員会。

98

Pilkada DKI Jakarta – Di tengah pesona janji dan dangdut. (Nasional) Tempo 36(23) Aug. 5, 2007: p.28-30, 32-35

ジャカルタ首都特別州知事選キャンペーンの状況をルポ。ファウジ・ボウォ、アダン両知事候補に施策を聞く。

99

Goreng-menggoreng cerita rumah tangga. (Laporan utama) Tempo 36(24) Aug. 12, 2007: p.[26]-30, 32-34, 36, 38

ユドヨノ大統領は陸軍士官学校入学前に一度結婚していた？改革の星党からリコールされたザエナル元国会議員の生き残りをかけた政治戦略か。大統領は警察に通告。

100

Blak-blakan dengan dua kandidat. (Wawancara) Tempo 36(24) Aug. 12, 2007: p.[46]-48, 50

ジャカルタ首都特別州知事候補2人に8つの同じ質問を行ったインタビュー記録。

101

Politisi tak pernah kapok bermanuver. (Forum keadilan) Forum keadilan 17(16) Aug. 12, 2007: p.11-22

ユドヨノ大統領が過去に婚姻経験があったと主張するザエナル元国会議員。政治の領域を逸脱した刑事犯罪か。本人と識者に聞く。

102

Pergulatan demokrasi liberal 1950-1959 – Zaman emas atau hitam?. (Edisi khusus) Tempo 36(25) Aug. 19, 2007: p.22-29, 31-34, 36-42, 44-51, 53-56, 58-62, 64, 66,

68-72, 74, 76-77, 79-82, 84, 86-90, 92-101, 103-106, 108, 110-112, 114, 116-118

議会制民主主義が適用された 1950 年代の政治を記録と写真で振り返る。国内外の著名な学者 8 名の各 2~3 ページのコラム収録。

103

Pilkada DKI Jakarta – Cara Foke menambang suara. (Nasional) Tempo 36(25) Aug. 19, 2007: p.132-134, 136-138
ジャカルタ首長選でファウジ・ボウォ＝プリアント組が勝利。地域別の得票率を図示。アダン＝ダニ組に流れた浮動票の内訳を分析。

104

Selamat datang “si kumis” gubernur Jakarta. (Forum keadilan) Forum keadilan 17(17) Aug. 19, 2007: p.11-21
ジャカルタの新首長に選出されたファウジ・ボウォの横顔紹介。アダン＝ダニ組の敗因は？同組を支持した福祉正義党党首に聞く。

105

Kasus Munir – *Roger, roger*, intel sudah terkepung. (Laporan utama) Tempo 36(26) Aug. 26, 2007: p.26-34
人権活動家ムニール殺害事件で捜査の手が国軍の諜報機関の大物たちに到達？巨大なパズルを解く鍵はどこにあるか。2004 年 9 月から 2007 年 8 月までの出来事を整理。

106

Tan Malaka, pejuang kesepian. (Fokus) Forum keadilan 17(19) Sept. 2, 2007: p.43-51
インドネシア独立に貢献した 7 名の一人に数えられるタン・マラカ。その生涯と業績を振り返る。

107

Membedah D. N. Aidit – Dua wajah Dipa Nusantara. (Liputan khusus) Tempo 36(32) Oct. 7, 2007: p.50-58, 60-68, 70-76, 81-94, 96-100, 102-107
中・ソに次ぐ世界第 3 の党員を擁する共産党をつくった D.N.アイディットの生涯を回顧。家族の 9.30 事件以降の道程やアイディット最期の地をめぐる証言。写真多数収録。

108

Fauzi Bowo – Orientasi kami kepuasan publik. (Wawancara) Tempo 36(35) Oct. 28, 2007: p.50-52, 54
ジャカルタ首都特別州知事ファウジ・ボウォが同州が抱える様々な問題（環境問題、末端行政組織の活性化、他）に回答。

109

3 tahun SBY-JK – Seribu angka, satu puisi. (Liputan khusus) Tempo 36(36) Nov. 4, 2007: p.28-34, 36, 38-44, 46, 48-56, 58-62, 64-72, 74-78, 80, 82-87
就任後、3 年経過したユドヨノ＝カラ政権を国民はどう評価しているか。種族、地域、年齢、学歴などを基に分析した世論調査結果。

110

Calon presiden – Surat cinta, bisik-bisik, hingga syahwat politik. (Forum utama) Forum keadilan 17(26) Nov. 4, 2007: p.11-21
大統領選は 2 年先でも既に 2 名が候補に名乗り。若手の候補者が出現するのは 2014 年の選挙？民主主義者党幹部と識者 2 人に聞く。

111

Prof. Dr. Maswadi Rauf, MA – “Jangan hanya garap partai-partai kecil.” (Wawancara) Forum keadilan 17(26) Nov. 4, 2007: p.60-64
民主主義者党の他党との連立は不可避か。闘争民主党はどの党から副大統領候補を選挙？インドネシア大学の政治研究者が 2009 年大統領選を占う。

112

Calo alutsista dimana-mana. (Forum utama) Forum keadilan 17(27) Nov. 11, 2007: p.11-21
国防予算の執行過程で国会議員が介入？国会第 1 委員会委員の中に仲介者？ユウォノ国防相の発言に対し国会議員が猛反発。

113

Letjen (Purn) Dr(Hc). H. Sutiyoso – “Saya masih perlu parpol.” (Wawancara) Forum keadilan 17(27) Nov. 11, 2007:

p.60-64

ステイヨン前ジャカルタ首都特別州知事が大統領選に名乗り。氏を支持する政党はどれか。副大統領候補は？氏へのインタビュー。

114

Polisi & terrorisme – Surat ayah dari Johor. (Nasional) Tempo 36(38) Nov. 18, 2007: p.26-28, 30-33

警察がテロ活動で受刑者となった罪人たちが矯正。刑務所で信念を変えた者たち。バリ島爆弾テロの死刑囚へのインタビュー収録。

115

Ifdhal Kasim – “Bangsa ini masih ditawan masa lalu.” (Wawancara) Forum keadilan 17(31) Dec. 9, 2007: p.62-66

インドネシアで基本的人権は確立されたか。解決できなかった事件には国が犠牲者に賠償金？国家人権委員会委員長に聞く。

116

Pemburu koruptor pilihan DPR – Permainan di balik kemenangan. (Hukum) Tempo 36(42) Dec. 16, 2007: p.108-110, 112, 114-116, 118-119

汚職の噂が絶えない検察官が汚職撲滅委員会委員長に選出。背景に2大政党（ゴルカル党、闘争民主党）の戦略か。新委員長に聞く。

2008年（政治）

117

Cerbung korupsi kapala daerah. (Forum utama) Forum keadilan 17(36) Jan. 13, 2008: p.11-22

地方分権化の時代に入り、各地で明らかになる汚職事件。その動機は何か。汚職に関わった州知事、県知事、市長の名前、当時の役職名、汚職の内容、国庫に与えた損害、刑法上の身分をリスト化。

118

Saat-saat kritis – Pasien istimewa di kamar 534. (Liputan khusus) Tempo 36(47) Jan. 20, 2008: p.II-VII, X-XIV, XVI

危篤状態が続くスハルト元大統領。多くの要人たちが見舞いに。回復を願って祈祷する国民と政治家たちの動き。

119

Dini hari melobi Cendana – Perundingan gagal di pagi buta. (Liputan khusus) Tempo 36(48) Jan. 27, 2008: p.II-X, XII, XIV-XVI

病状が深刻化するスハルト元大統領。政府は法廷外で汚職疑惑事件の解決を試みたが、スハルト家は4兆ルピアの支払いを拒否。それに対抗して政府は赦免を拒否。見舞いに訪れたハルモコとハビビは門前払いに。

120

Malari, sisi muram sejarah. (Fokus) Forum keadilan 17(38) Jan. 27, 2008: p.43-53

34年前に起った「マラリ事件」を振り返る。単なる反日暴動か権力闘争か。当時の活動家へのインタビューと暴動時の写真10葉収録。

121

Soeharto (8 Juni 1921 – 27 Januari 2008) – Pusara antara istri dan mertua. (Liputan khusus) Tempo 36(49) Feb. 3, 2008: p.[I]-VI, X-XV

スハルト元大統領が死去。弔問の様子。86年の生涯を写真で辿る。元閣僚2名と反体制派1名のスハルト評。

122

Soeharto – Legasi tak berujung. (Edisi khusus) Tempo 36(50) Feb. 10, 2008: p.18-22, 24-26, 28, 30-32, 34-40, 42, 44-50, 52-53, [55]-58, 60, 62, 64, [66]-70, 72-76, 78, 80-82, 84, 86, 88-90, 92, 94-100, 102, 104, 106-110, [112]-116, 118-120, 122, 124-126, 128, 130-131

スハルトの功罪を振り返る。凋落は子供たちがビジネスで攻撃的になったところから始まった？「支持」と「反抗」の立場に立つ各関係者が証言。コラム記事 7 点収録。

123

Amien Rais – “Bangsa ini dijajah korporasi asing.” (Wawancara) Forum keadilan 17(40) Feb. 10, 2008: p.62-66

スハルトの死に対してユドヨノ大統領の発言が慎重にならざるを得ない理由、多国籍企業の資源収奪とインドネシア国民の主権、2009 年選挙の展望などを語ったアミン・ライス前国民協議会議長へのインタビュー記事。

124

Alutsista – Dibuang sayang, dipakai nyawa melayang. (Forum utama) Forum keadilan 17(41) Feb. 17, 2008: p.11-21

戦闘兵器の老朽化に頭を悩ます国軍と国防省。その 5 割が使用に耐えない？国防大臣と軍事研究家に聞く。1999～2002 年の国防費内訳と GDP 比ならびに国家予算比を収録。

125

Herman Nicolas ‘Ventje’ Sumual – Lelaki di balik Permesta. (Memoar) Tempo 37(3) Mar. 16, 2008: p.64-72, 74

1950 年代後半のスラウェシで、ジャワ中心主義に反旗を翻した一軍人が当時を回顧。ジャカルタ攻撃計画と CIA との関係。

126

Hujan partai di musim verifikasi. (Fokus) Forum keadilan 17(45) Mar. 17, 2008: p.41-49

来年の総選挙を前に 120 政党が法務・人権省に登録。その内、必要条件を満たした政党はわずか 47 政党。名称を変更した 8 政党をリスト化。

127

KH. Hasyim Muzadi – “Warga NU banyak diobok-obok para politisi.” (Wawancara) Forum keadilan 17(45) Mar. 17, 2008: p.64-68

インドネシア最大のイスラム組織ナフダトゥール・ウラマと政治との関係はどう変化しているか。ハシム・ムザディ総裁に聞く。

128

Sudomo – “Kalau benar tentara, harus berani datang.” (Wawancara) Tempo 37(5) Mar. 30, 2008: p.118-121

「新秩序」期に治安作戦の重職を務めた退役海軍大將が、国家人権委員会の召喚で同委員会のオフィスに出頭。ランプン、タンジュンプリオク両事件、他への見解を聞く。

129

Drs. H. Abdul Aziz, MA – “Kita optimis pemilu 2009 tidak bakal molor.” (Wawancara) Forum keadilan 17(48) Apr. 7, 2008: p.62-66

2009 年総選挙の準備は十分か。選挙結果をめぐる紛争にどう対処？総選挙委員会委員に聞く。

130

Selamat datang calon perseorangan. (Fokus) Forum keadilan 17(49) Apr. 14, 2008: p.39-48

地方首長選で政党支持のない個人候補者が立候補可能に。改正地方行政法のポイントとなる全 4 章を抜粋収録。

131

Verifikasi partai – Para pencari suara. (Nasional) Tempo 37(8) Apr. 20, 2008: p.27-32

2009 年総選挙に向け、24 新政党が資格審査に合格。創立者の多彩な顔ぶれを紹介。

132

Gus Dur dan Muhaimin – Sejarah yang berulang. (Wawancara) Tempo 37(8) Apr. 20, 2008: p.134-137

民族覚醒党党首ムハイミンをワヒド元大統領が解職し、緊張が増す同党。元大統領の不

信感はどこから生まれたか。両者に聞く。

133

Tabur bintang di ladang pilkada. (Fokus) Forum keadilan 17(51) Apr. 28, 2008: p.39-47

地方首長選で目立つようになった新顔の候補者たち。2009年総選挙でも若年層が大量進出？タンゲラン市長候補者と政治学者に聞く。

134

Hasrat mengganti Jusuf Kalla di Golkar. (Forum utama) Forum keadilan 18(1) May 4, 2008: p.11-21

西ジャワおよび北スマトラ地方首長選でのゴルカル党敗北を受け、同党は特別全国大会を開催？2009年総選挙に暗雲か。識者2名とゴルカル党国会議員に聞く。

135

Nasib Ahmadiyah di Indonesia – Mengadili iman, memberangus keyakinan. (Laporan utama) Tempo 37(11) May 11, 2008: p.[28]-40

ウラマ協議会や信仰団体監督合同機関によって邪教とみなされることになったアフマディヤ教。政府側の最終措置を待つ間に焼き討ちなどの破壊行為が発生。同教の歴史を辿る。

136

Sri Soemantri – Juru kunci konstitusi. (Memoar) Tempo 37(11) May 11, 2008: p.55-58, 60-61, 64

国法(hukum tata negara)学専門の学者が語る制憲議会期の政治的対立。改革期における憲法改正議論をめぐる対立とどう異なるか。

137

Anas Urbaningrum – “Kita merindukan pemenang tidak pongah dan pecundang terhormat.” (Wawancara) Forum keadilan 18(5) June 1, 2008: p.62-66

大統領の支持母体政党として、石油燃料値上げや大統領選挙法改正にどう対処するか。民主主義者党副党首に聞く。

138

Ajakan damai di ranah unjuk rasa. (Forum utama) Forum keadilan 18(6) June 8, 2008: p.11-23

石油燃料値上げ反対デモで学生と警察が衝突し、150名逮捕。背後に扇動者？ナショナル大学社会・政治学部長、弁護士、刑法研究者に聞く。

139

FPI – Cedera di Hari Pancasila. (Laporan utama) Tempo 37(16) June 15, 2008: p.28-32, 34, 36-38, 40, 42

パンチャシラ誕生の日に独立記念広場で集会中の団体に対し、イスラム擁護戦線(FPI)が攻撃。アフマディヤ教弁護がその理由か。武装組織の司令官は指名手配され、最高指導者は容疑者に。FPIの解散をもとめる声も。

140

Bara dari Maluku Utara. (Fokus) Forum keadilan 18(7) June 15, 2008: p.43-51

州知事選の最終結果を7カ月待った北マルク州。政府はタイプ＝ガニ組を勝者に決定したが、ガフルを支持するゴルカル党は政府に反発。ゴルカル党と民主主義者党の幹部に聞く。

141

Ahmadiyah – Ya-tidak mengusir Ghulam. (Politik) Tempo 37(17) June 22, 2008: p.26-34

政府がアフマディヤ教の布教を禁止。活動凍結の次に大統領決定で解散命令？それぞれ異なるパキスタン、南アフリカ、ヨーロッパでの同教の取り扱われ方。

142

Pembunuhan Munir – Bingo, mister Django. (Politik) Tempo 37(18) June 29, 2008: p.26-31

ムニール殺害事件でムフディ元陸軍特殊部隊司令官が容疑者に。ポリカルプスとの電話記録、諜報の指示、元部下の証言、など用意された山積みの証拠。事件の経過を図示。

143

Busur Munir mengarah ke sang jenderal. (Hukum) Forum keadilan 18(9) June

29, 2008: p.27-30
人権活動家ムニール殺害事件の容疑者になったムフディ元国家情報機関副長官。2005年以降の証言を追う。

144
Pembunuhan Munir – Jurus sangkal sang pendekar besar. (Politik) Tempo 37(19) July 6, 2008: p.26-34

人権活動家殺害事件でムフディの取調べが終了し裁判へ。国家情報機関の命令系統にメス？ムフディとヘンドロプリヨノに聞く。

145
Natsir – Sebuah pemberontakan tanpa drama. (Laporan utama) Tempo 37(21) July 20, 2008: p.46-52, 54-58, 60-66, 68, 70-72, 74, 76-78, 80-91, 93-100, 102-108, 110-112, 114

イスラム改革主義に大きな影響を与えた元マシュミ党党首 M.ナシール生誕 100 周年記念特集。識者による 4 本のコラム記事、写真多数収録。

146
Menjadi golput yang cerdas. (Fokus) Forum keadilan 18(12) July 20, 2008: p.37-45

2004 年総選挙で 20% を突破した無投票者。地方首長選では 50% を越す選挙も。増加の背景を探る。

147
Abdul Hafiz Al Anshary – “Kita geser sehari saja dianggap menyalahi.” (Wawancara) Forum keadilan 18(12) July 20, 2008: p.64-68

総選挙日を 2009 年 4 月 9 日に延長した総選挙委員会。日程、予算、他の変更の可能性を同委員会委員長に聞く。

148
Mimpi jadi presiden – Bersolek menuju RI-1. (Laporan utama) Tempo 37(22) July 27, 2008: p.26-32, 34, 36-37

退役将校から活動家まで多彩な次期大統領候補者 9 名のスローガン、支持母体、人気度などを写真入りで紹介。

149
Menyingkirkan pemimpin tua. (Forum utama) Forum keadilan 18(14) Aug. 3, 2008: p.11-22

待ち望まれる政治家の世代交代。幹部候補育成は順調か。福祉正義党党首、活動家、心理学者に聞く。

150
Nur Hidayat Sardini, S. Sos, M. Si – “Biar pun kondisi sulit, kami tetap mengawasi.” (Wawancara) Forum keadilan 18(14) Aug. 3, 2008: p.62-66

総選挙監視のための予算獲得？と各地域における組織化は進んでいるか。総選挙委員会関連法の問題点は？総選挙監視機関議長に聞く。

151
Tan Malaka – Dia yang mahir dalam revolusi. (Edisi khusus hari kemerdekaan) Tempo 37(25) Aug. 17, 2008: p.20-26, 28-32, 34, 36-38, 40-42, 44, 46-54, 56-58, 60, 62-64, 66, 68, 70, 72-73, 77-80, 94-100, 102-106, 108-109

独立インドネシア構想を最初に描いた活動家タン・マラカの思想と国内外における足跡を辿る。コラム記事 8 本、写真多数収録。

152
Dwi fungsi penguasa dan pengusaha. (Fokus) Forum keadilan 18(16) Aug. 17, 2008: p.37-45

施政者と企業家の掛け持ちが引き起こす様々な問題。政治家、政府高官でありながら、企業の大株主や経営陣に名を連ねる 17 名。

153
Unsur politik di balik pergantian Kapolri. (Forum utama) Forum keadilan 18(17) Aug. 24, 2008: p.11-22

定年を 1 カ月後にひかえたスタント警察長官の任期延長はあるか。その政治的背景や警察内の世代交代に関し、NGO 代表、元警察幹部、研究者に聞く。

154
Ilyas Karim – “Banyak cara merampas

senjata.” (Wawancara) Forum keadilan 18(17) Aug. 24, 2008: p.62-66
インドネシアの国旗を1945年8月17日に公式掲揚した人物に同日の儀式の様子を聞く。

155

Tak ada kader, artis pun jadi. (Forum utama) Forum keadilan 18(18) Aug. 31, 2008: p.11-23

2009年4月の総選挙を前に、人気俳優や歌手などを議員候補に選び始めた各政党。政党弱体化の反映か。政治学者2名と俳優に聞く。

156

Mahfud Md. – “Demokratis belum tentu benar.” (Wawancara) Tempo 37(31) Sept. 28, 2008: p.139-142

マフフッド新憲法裁判所長官に2009年総選挙における同裁判所の役割、ワヒド元大統領との関係、他を聞く。

157

Hidayat Nur Wahid – “Problema korupsi karena tidak melaksanakan konstitusi.” (Wawancara) Forum keadilan [18](22) Oct. 5, 2008: p.62-66

2008年大統領決定第18号により8月18日が憲法記念日に。憲法改正をめぐる議論を国民協議会議長に聞く。

158

Safari capres mendulang simpati. (Forum utama) Forum keadilan [18](23) Oct. 12, 2008: p.11-21

2009年大統領選を前に、候補者たちが様々な活動を展開。候補者たちが訪問する場所と面会する人物が暗示するものは何か。

159

Yogyakarta memang istimewa. (Fokus) Forum keadilan [18](24) Oct. 19, 2008: p.64-68

スルタン家とパク・アラム家がそれぞれ州知事と副州知事を務めるジョグジャカルタ州で地方首長選の実施は可能か。同州の特別性を規定する法案をめぐる論争が発生。

160

Jimly Asshiddiqie – “Kalau maju ke politik, itu mundur namanya.” (Wawancara) Forum keadilan [18](24) Oct. 19, 2008: p.64-68

急に辞任した印象が否めない前憲法裁長官。政界入りの可能性はあるか。前長官に聞く。

161

Seorang lelaki di bawah hujan. (Nasional) Tempo 37(34) Oct. 19, 2008: p.[27]-30, 32
アチェ独立運動の指導者ハッサン・ティロが約30年ぶりに帰郷。市民は熱烈歓迎。

162

4 tahun SBY-JK – Mengintip padang Kuruksetra. (Laporan utama) Tempo 37(35) Oct. 26, 2008: p.34-52, 54, 56, 58-60, 62, 64-66

大統領選に向かって準備を整える各候補者たち。ユドヨノ政権の支持率はどのように推移したか。4年間の業績に関する各種世論調査結果を収録。

163

Sumpah Pemuda 1928 – Pemuda yang mendambakan Indonesia. (Laporan khusus) Tempo 37(36) Nov. 2, 2008: p.22-34, 36-38, 40-44, 46-52, 54-58, 60-63, 66-69

80年前に蘭領東インドに住む青年たちが一堂に会して宣言した「青年の誓い」。当時、民族主義運動の頂点を象徴する出来事に関わった青年たちの言動とその後の足跡を回顧。

164

Amin Rais – “Korupsi menyangkut istana pasti aman.” (Wawancara) Forum keadilan 18(26) Nov. 2, 2008: p.11-22

ユドヨノ政権の4年間の成果を政治、経済、司法の側面から評定する。前国民協議会議長へのインタビュー。

165

Setelah para leluhur berbisik. (Politik) Tempo 37(37) Nov. 9, 2008: p.27-30

大統領選出馬を決めたハムンクブウォノ10世。一方で、スルタンと対面する政治的な市民集会在王宮内で実施され、批判の声も。

166

Eksekusi di Bukit Nirbaya. (Politik) Tempo 37(38) Nov. 16, 2008: p.27-30, 32, 34

バリ島爆弾テロ事件の死刑囚 3 人に執行された銃殺刑。恩赦を拒否した死刑囚。治療を続けるテロ被害者。

167

Teror massal menjelang Amzori Cs ditembak. (Forum utama) Forum keadilan 18(28) Nov. 16, 2008: p.11-23

バリ島爆弾テロ事件の死刑囚 3 人への死刑執行で広がる報復テロの噂。国会第 3 委員会副委員長、ムスリム弁護チーム委員、心理学者に聞く。

168

Abu Bakar Ba'asyir – “Eksekusi ini campur tangan politik.” (Wawancara) Forum keadilan 18(28) Nov. 16, 2008: p.64-68

バリ島爆弾テロに影響を与えたとも言われたアブ・バカル・バアシルは、アムロジ他 2 名への死刑執行をどうみるか。オバマ次期米大統領にも言及。

169

Sjam Kamaruzaman – Anak Tuban dalam halimun G30S. (Liputan khusus) Tempo 37(39) Nov. 23, 2008: p.[68]-72, 74, 76-80, 82, 84-88, 90-92, 94, 96-100, 102, 104-105

9.30 事件当時、インドネシア共産党の特別工作を行う部門の議長職にあったシャム・カマルザマン。その生い立ちと法廷証言を検証。

170

Jalan arif memutus sengketa pilkada. (Fokus) Forum keadilan 18(32) Dec. 14, 2008: p.37-45

憲法裁が東ジャワ州の 2 県における地方首長選のやり直しを命令。北マルク州では対立する支援者間の衝突が発生。

171

Peluang PDIP menghadapi pemilu 2009. (Laporan utama) Tempo 37(43) Dec. 21, 2008: p.26-31

メガワティ前大統領の評伝出版記念で集まった 300 人。再度大統領選に出馬した時、副大統領候補は誰になるか。世論調査結果収録。

172

Amir Sjarifoeddin – Amir, tokoh tragis tepian sejarah. (Politik) Tempo 37(43) Dec. 21, 2008: p.34-, 36, 38-39

マディウン事件で処刑されたアミール・シヤリフディン。死後 60 年を経て、7NGO が記念歴史討論会を開催。コラム記事収録。

173

Putra Hadrami dari Ampel. (Intermezo) Tempo 37(43) Dec. 21, 2008: p.[55]-58, 60-62, 64-[66]

アラブ系インドネシア人と現地社会との統合を目指した外交官の業績を回顧する。ナショナルリズムはどのようにして生まれたか。

174

Abdul Hafiz Anshary – “Nantinya partai harus berkoalisi.” (Wawancara) Tempo 37(43) Dec. 21, 2008: p.113-116

総選挙委員会委員長に 2009 年総選挙と大統領選挙準備状況を聞いたインタビュー記事。

175

Sri Sultan Hamengku Buwono X – “Deklarasi saya jadi presiden, bukan wakil presiden.” (Wawancara) Forum keadilan 18(33) Dec. 21, 2008: p.60-64

去る 10 月、次期大統領選に出馬表明したハムンクブウォノ 10 世。氏のビジョンとミッションを聞く。

176

Megawati Soekarnoputri – “Saya tak merasa kalah.” (Wawancara) Tempo 37(44) Dec. 28, 2008: p.216-218, [220]

2004 年大統領選で敗北宣言をしなかったメガワティ前大統領。その真意は何か。ユドヨノ大統領との関係、イスラム性などを聞く。

2009年（政治）

177

Jalan panjang ke suara terbanyak. (Forum utama) Forum keadilan 17(35) Jan. 4, 2009: p.11-22

候補者名簿順ではなく最低得票率のクリアを条件にした当選者決定法を導入？ゴルカル党、闘争民主党、他の候補者の反応。憲法裁が違憲と判断した条文を掲載。

178

I Gusti Putu Artha – “MK wajib beri klarifikasi dan penjelasan hukum.” (Wawancara) Forum keadilan 17(35) Jan. 4, 2009: p.60-64

総選挙法（2008年法律第10号）第214条の条文すべてを違憲とした憲法裁判決。総選挙委員会コミッショナーの見解を聞く。

179

Muchdi bebas – Akhirnya memang bebas. (Laporan utama) Tempo 37(46) Jan. 11, 2009: p.34-41

ムニール殺害を指示した疑いがもたれるムフディに対し、南ジャカルタ地裁が無罪判決。証言の取り下げ、法廷欠席はなぜ生じたか。ムニールの妻とムフディへのインタビュー、2004年9月以降のクロノロジー収録。

180

Suciwati, istri (alm) Munir – “Munir dibunuh tanpa ada pembunuhnya.” (Wawancara) Forum keadilan 17(38) Jan. 25, 2009: p.60-64

人権活動家ムニール殺害事件で無罪になったムフディ前国家情報機関副長官。ムニールの妻へのインタビュー記事。

181

Calon presiden mencari pendamping – Setelah perjamuan di Kraton Kilen. (Laporan utama) Tempo 37(50) Feb. 8, 2009: p.28-32, 34-39

4月の総選挙を前にジョグジャカルタ王宮で会合を持ったメガワティとハムンクブオノ10世。一方で注目されるプラボウォ退役陸軍中將の動き。

182

Kasus Medan – Pesan angkat sebelum mangkat. (Laporan utama) Tempo 37(51) Feb. 15, 2009: p.[26]-30, 32-35

北スマトラ州からのタパヌリ州分立を主張するグループが州議会議長を暴行殺害。対立の構図は？ゴロンタロ州の分立はなぜ成功？

183

Pemekaran berdarah – Azis berpulang membawa Provinsi Tapanuli. (Forum utama) Forum keadilan 17(41) Feb. 15, 2009: p.11-23

北スマトラ地方議会でゴルカル党会派の議長が集団暴力を受け死亡。タパヌリ州分立の可否をめぐる議事の延期に立腹した民衆の内、暴力に加担したのは誰か。

184

Panggung politik para jenderal. (Fokus) Forum keadilan 17(41) Feb. 15, 2009: p.37-45

一部の国家および警察の高官たちが総選挙において中立を保たないとユドヨノ大統領が批判。政治活動へと走る者は誰か。

185

Calon pendamping presiden – Nama di kantong Ki Lurah. (Laporan utama) Tempo 37(52) Feb. 22, 2009: p.[27]-32, 34

ユドヨノと組む次期副大統領候補として名前が挙がるユスフ・カラ、スリ・ムルヤニ。2004年4月の決定に至るプロセスを回顧。

186

Retaknya kemesraan di istana. (Forum utama) Forum keadilan 17(42) Feb. 22, 2009: p.22-22

民主主義者党副党首がゴルカル党の得票率をわずか2.5%と発言したことで、両党に亀裂。大統領の謝罪で政局はどう動くか。

187

Pemilihan umum kritis – Nasib ‘urek-urek’ di kartu suara. (Laporan utama) Tempo 38(1) Mar. 1, 2009: p.26-30, [32]-35

投票方法が筆記用具でチェックする方法に変更され、選挙人名簿の確定方法と並んで、

選挙を不安視する声が増大。2004年の総選挙と今年とはどう異なるか。11項目を比較。

188

Mardiyanto – “Kalau tidak siap, jangan minta dimekarkan.” (Wawancara) Forum keadilan 17(43) Mar. 1, 2009: p.60-64

北スマトラ州議会議長の死を招いたタパヌリ州分立問題。地方分権と自治体分立にはどのような課題があるか。マルディヤント内相に聞く。

189

Kalla menuju RI-1 – Politik dua kaki saudagar Bugis. (Laporan utama) Tempo 38(2) Mar. 8, 2009: p.24-32, 36-37

ユスフ・カラがゴルカル党の推す大統領候補になる可能性は？ 同党内には副大統領としてユドヨノと組むことを推すグループとカラ以外を大統領候補に推すグループも存在。

190

Hidayat Nur Wahid – “Survei bukan Tuhan, juga bukan hantu.” (Wawancara) Forum keadilan 17(44) Mar. 8, 2009: p.60-64

福祉正義党とゴルカル党の連携は可能か。総選挙と憲法改正に関し、ヒダヤット国民協議会議長にインタビュー。

191

Sutan Sjahrir 100 tahun – Peran besar bung kecil. (Laporan utama) Tempo 38(3) Mar. 15, 2009: p.16-22, 24-28, 30-42, 44-47, 49-60, 62-67, 69-79, 81-84, 86-88, 90-96, 98-103

スータン・シャフリル生誕100年記念特集。オランダ滞在期から革命期を経て、インドネシア社会党の解散までどのように国政と関わったか、写真でその足跡を辿る。スカルノ、ハッタ、タン・マラカからの関係を回顧。コラム記事7本、関連著作紹介記事2本、7名のシャフリル評を収録。

192

Gegap gempita bursa capres 2009. (Fokus) Forum keadilan 17(45) Mar. 15, 2009:

p.35-43

国会議員選と正・副大統領選を前に3人の大統領候補者（メガワティ、ユドヨノ、カラ）が浮上。新人は皆無？

193

Sebuah buku yang membakar – Cerita kudeta sebelum pemilu. (Laporan utama) Tempo 38(4) Mar. 22, 2009: p.26-[32]

1998年5月の政変時、プラボウォは本当にクーデターを仕掛けた？4 著作を比較する。シントン・パンジャイタン退役中將の著作は総選挙を前にしたネガティブキャンペーン？

194

SBY-JK pisah jalan – Dua restu dari Cisitu. (Laporan utama) Tempo 38(5) Mar. 29, 2009: p.26-31

ユドヨノ、カラ正副大統領が袂を分かち、それぞれ別々のペアとして大統領選に出馬？カラ副大統領とペアに収まるのはスティヨソ、またはエンドリアルトノか。

195

Saudara dipilih bukan dilotre. (Fokus) Forum keadilan 17(47) Mar. 29, 2009: p.37-47

国会議員の5年間（2004～2009年）の実績を点検する。国会内の全11委員会の抱える問題点は何か。

196

Pemilu 2009 – Melongok silsilah dan akar partai. (Liputan khusus) Tempo 38(6) Apr. 5, 2009: p.[46]-48, 50-78, 80-83, 86-93

2009年総選挙特集。38政党を民族系、イスラム系、キリスト教系、社会・民主系などに分類し、設立後の歴史と特質を解説。各党の概要、各調査機関による得票率推計を収録。

197

Duet Jawa-luar Jawa sudah usang. (Forum utama) Forum keadilan 17(49) Apr. 12, 2009: p.11-22

スカルノ＝ハッタ以来のジャワ＝非ジャワの大統領＝副大統領の組み合わせは既に時代

遅れか。政治評論家と政党幹部に聞く。

198

Bacharuddin Jusuf Habibie – “Calon presiden tak harus dari partai.” (Wawancara) Forum keadilan 17(49) Apr. 12, 2009: p.60-64

大統領選、民主化、地方分権化、他に関してハビビ元大統領に聞く。政党出身でない大統領候補を望む理由は何か。

199

Rahasia kemenangan Demokrat – Anak pembawa bola. (Laporan utama) Tempo 38(8) Apr. 19, 2009: p.26-30, 32-34, 36-42

開票作業が進むにつれ、民主主義者党の勝利が確実に。勝因は何か。政党間の合従連衡の状況を探る。活発化する各党首と有力者たちの会合。

200

Rahasia kemenangan Partai Demokrat. (Forum utama) Forum keadilan 17(50) Apr. 19, 2009: p.11-22

クイックカウント(Quick Count)でリードする民主主義者党。勝因はユドヨノ大統領の圧倒的イメージに加えて、強力集票マシンと広いネットワークを持つことか。情報畑退役軍人の役割。

201

Koalisi pasca pemilu – menanti angin Cikeas. (Laporan utama) Tempo 38(9) Apr. 26, 2009: p.26-30, 32-36

来期もユドヨノ＝カラの大統領・副大統領を支持、独自の大統領候補を立てる、更には闘争民主党と組もうとする3グループで分裂するゴルカル党。民主主義者党も分裂？

202

Abdul Hafiz Anshary – “Kami tidak akan mundur.” (Wawancara) Tempo 38(9) Apr. 26, 2009: p.131-134

選挙人名簿の不備や選挙違反で21政党が選挙結果の受入を拒否。総選挙委員会委員長に今後の対応を聞く。

203

Kipas-kipas pasca pemilu. (Fokus) Forum keadilan 18(1) Apr. 26, 2009: p.37-45

選挙人名簿の不備、捏造、選挙違反などに対し、多くの政党が不正を告発。憲法裁はどのように対処？民主主義者党、グリンドラ党の幹部に聞く。

204

Nur Hidayat Sardini – “Jika ada bukti, majukan ke penyidik.” (Wawancara) Forum keadilan 18(1) Apr. 26, 2009: p.60-64

549件の選挙違反報告ならびに情報を得た総選挙監視機関。その政党別内訳は？同機関の議長に聞く。

205

Jalan berliku Kalla – Cetita tentang kasih tak sampai. (Laporan utama) Tempo 38(10) May 3, 2009: p.26-30, 32-34, 36-37

民主主義者党とゴルカル党の幹部が高級ホテルで会合。7月の大統領選で現大統領・副大統領の組み合わせは暗礁に。活発化する各党のペア選び。

206

Dr. Ir. Akbar Tandjung – “Saya siap menjadi cawapres.” (Wawancara) Forum keadilan 18(2) May 3, 2009: p.60-64

大統領候補の擁立をめぐるゴルカル党内部に亀裂？アクバル・タンジュン前総裁に聞く。

207

Koalisi penantang SBY – Jalan memutar para penantang. (Liputan khusus) Tempo 38(11) May 10, 2009: p.26-32, 34-36

本格化する大統領選に向けた政党の動き。焦点はユドヨノ大統領が組む副大統領候補。各大統領・副大統領ペアを支持する政党の得票率で見れば、ユドヨノ組が圧倒的に優位。

208

Penantang yang diragukan. (Forum utama) Forum keadilan 18(3) May 10, 2009: p.11-22

国会議席獲得状況に基づく想定される3組の正・副大統領候補。水面下で様々な動き。

209

Duet SBY dan Boediono – Panggung kecil untuk orang besar. (Liputan khusus) Tempo 38(13) May 24, 2009: p.26-30, 32-35

ユドヨノと組む副大統領候補となったブディオノ中銀総裁。期待する声と連立政党内にくすぶる不満。ブディオノの生い立ちと足跡を辿る。

210

Biarkanlah rakyat memilih pemimpin terbaik. (Forum utama) Forum keadilan 18(5) May 24, 2009: p.11-22

出揃った3組の正・副大統領候補。ユドヨノと組む副大統領候補はブディオノに。国民はどのような指導者を望むか。8人に聞く。

211

Riuh dunia politik dinasti. (Fokus) Forum keadilan 18(5) May 24, 2009: p.37-45

近親者を比例名簿の上位に置く政党の幹部たち。ネポティズムが支配する政党体質の問題点を探る。

212

Prof. Dr. Komaruddin Hidayat – “Baru segitu kualitas politisi kita.” (Wawancara) Forum keadilan 18(5) May 24, 2009: p.60-64

ジャカルタ国立イスラム大学学長が政党、大統領選、宗教と政治、他について語ったインタビュー記事。

213

Kesepakatan di balik koalisi – Politik secawan air raksa. (Liputan khusus) Tempo 38(14) May 31, 2009: p.26-36

大統領選における政党の連立構図はほぼ固まったものの、所属政党が支持しない大統領・副大統領候補ペアに秋波を送る党员たち。国民信託党ではカラ＝ウィラント組のサクセスチームへ入る党员も出現。

214

Boediono – “Tuduhan neoliberal itu menguras energi.” (Wawancara) Forum keadilan 18(6) May 31, 2009: p.62-66

ユドヨノと組む副大統領候補者となったブディオノがネオリベラル派との批判へ回答。中銀総裁時代の経験、世界金融危機を語る。

215

Taktik para penantang SBY – Perang di balik selembur kain. (Liputan khusus) Tempo 38(15) June 7, 2009: p.26-30, 32-35

大統領選を第2ラウンドに持ち込み、敗者がもう一方を支持することを取り決めたメガワティとカラ副大統領。両陣営の戦略をルポ。

216

Jusuf Kalla – “Jangan-jangan mau mempermalukan saya.” (Wawancara) Tempo 38(15) June 7, 2009: p.[108]-111

カラ副大統領にユドヨノ大統領と袂を別つた理由、ブディオノ中銀総裁との経済政策の違い、電力ビジネス、他をインタビュー。

217

Kaya miskin calon presiden dan wakilnya – Yang kaya, yang mengaku miskin. (Liputan khusus) Tempo 38(16) June 14, 2009: p.[26]-32, 34

大統領・副大統領候補者の資産調査を完了した汚職撲滅委員会。プラボウォの資産が1.7兆ルピアと最高額に達するのに対し、ユドヨノの資産が最低になる背景は何か。

218

Penyumbang dana kampanye presiden. (Laporan khusus) Tempo 38(17) June 21, 2009: p.[27]-34, 37

選挙管理委員会が大統領選キャンペーン資金と出資者を発表。候補者ペアごとに異なる政党と個人の出資割合。出所不明の資金も。

219

Omar Dhani – Panglima termuda, lalu terpidana. (Memoar) Tempo 38(17) June 21, 2009: p.61-69

スカルノ時代の末期、空軍司令官を務め、9.30事件に関与した罪で獄中生活を強いら

れたオマル・ダニ氏。同事件関連証言を収録。

220

A.M. Fatwa – “Pemimpin yang kalah harusnya mendukung yang menang.” (Wawancara) Forum keadilan [19](10) June 28, 2009: p.60-64
インドネシアの政治家たちはなぜ自らの過ちを認めず、他の政治家の攻撃をしたがるか。ファトワ国民協議会副議長に聞く。

221

Enam remaja bertahun kemudian. (Liputan khusus) Tempo 38(19) July 5, 2009: p.27-28, 30-36, 38, 40-42, [44]-48, 50, 52-60, 62, 64-66, 68-80, 82-86, 88-90, 92-94, 96-102, 104, 106-108, 110-113
大統領・副大統領候補者全6名の足跡をたどる。インタビュー記事5本、コラム記事2本に加え、写真多数収録。

222

Setelah pesta demokrasi usai. (Laporan utama) Tempo 38(21) July 19, 2009: p.26-36, 38-39
ユドヨノ＝ブディオノ組の圧倒的勝利で終わった大統領選。その勝利の背景を探る。カラがアチェで負け、アンボンで大勝しなかった理由は何か。負けた2組は選挙違反を告発し、総選挙委員会の選挙結果発表も延期に。

223

5 menit untuk 5 tahun – Nyontreng yuk! (Fokus) Forum keadilan [19](13) July 19, 2009: p.35-45
徐々に明らかになる大統領選の開票結果。7月10日時点のQuick Countではユドヨノ＝ブディオノ組が得票率61.66%と圧倒。

224

Pdt. Dr. Andreas Anangguru Yewangoe – “Kami tidak memihak capres tertentu.” (Wawancara) Forum keadilan [19](13) July 19, 2009: p.60-64
インドネシアのプロテスタントは政治と異教徒との関係にどう向き合うか。インドネシア教会連盟議長に聞く。

225

Bom Mega Kuningan – Maut kamar 1808. (Laporan utama) Tempo 38(22) July 26, 2009: p.26-42, 44
マリオット、リッツの両ホテルで同時爆弾テロ事件が発生。ヌールディン・トップのグループが関与？シドニー・ジョーンズ ICG 上席顧問に聞く。

226

Sihir dari Cikeas. (Nasional) Tempo 38(22) July 26, 2009: p.45-46, 48, 50
ユドヨノ＝ブディオノ組が大統領選で大勝した背景にポピュリズムとイメージの良さ？貧困者層向け援助 (BLT) への期待感も一役買う？大勝の背景を分析。

227

Prof. Dr. Muladi SH. – “Mereka yang berkeringat itu sumbangannya kecil.” (Wawancara) Forum keadilan [19](14) July 26, 2009: p.60-64
大統領選でゴルカル党の票はどこへ？次期国会での野党、与党の選択をめぐる揺れるゴルカル党。同党のムラディ副党首に聞く。

228

Bom Mega Kuningan – Mesiu di balik rangkaian bunga. (Laporan utama) Tempo 38(23) Aug. 2, 2009: p.26-30, 32-36, 38-41
ジャカルタのビジネスセンターに位置する2つのホテルで爆弾テロ。犯行の手口をイラストで解説。

229

Terkucil karena terlanjur dicap keluarga teroris. (Forum utama) Forum keadilan [19](15) Aug. 2, 2009: p.11-22
時に強引とも思われるテロ容疑者の逮捕。癒されないその家族の心の傷。警察関係者とアブ・バカル・バアシルに聞く。

230

Suripto, SH – “Bisa saja Noordin M. Top digarap intelijen asing.” (Wawancara) Forum keadilan [19](15) Aug. 2, 2009: p.60-64

テログループと外国の諜報機関はどのように活動しているか。スリプト国会第3委員会委員に聞く。

231

Memburu Noor Din M. Top – Dunia kecil buron besar. (Nasional) Tempo 38(24) Aug. 9, 2009: p.28-32, 34-37

10億ルピアの懸賞金をかけられ、8年以上警察が追跡するテロリスト：ヌールディン・トップ。家族の証言、国際 NGO シニア・アドバイザーのコラム記事を収録。

232

Solusi menghindari DPR jadi parlemen jalanan. (Forum utama) Forum keadilan [19](16) Aug. 9, 2009: p.11-22

数千の中央、地方議会に影響を与えることが懸念される議席算出に関する最高裁決定。各党の獲得議席が最高裁の算出法でどう変化するかを統計表で比較。

233

Adu kuat berteduh di pohon beringin. (Fokus) Forum keadilan [19](16) Aug. 9, 2009: p.39-47

ゴルカル党党首の選出で揺れ動く同党の党員たち。アクバル元党首はA.バクリを、ユスフ・カラのグループはユディ・クリスナンディをそれぞれ支持。ユディ候補に聞く。

234

Penyergapan Noor Din M. Top – Kematian di kaki bukit. (Laporan utama) Tempo 38(25) Aug. 16, 2009: p.[28]-34, 36

中部ジャワ州トゥマングンの民家を18時間包囲の後、警察がヌールディンを射殺？テロリスト受刑者へのインタビュー記録収録。

235

Madani menerjang persekutuan segi tiga. (Forum utama) Forum keadilan [19](17) Aug. 16, 2009: p.11-31

インドネシアの民主化は国家、政党、企業家間に同盟関係を生み、汚職が蔓延る結果に？一方で汚職監視 NGO も出現。民主化はどの段階にあるか。

236

Bintang otonomi daerah. (Edisi khusus Hari Kemerdekaan) Tempo 38(26) Aug. 23, 2009: p.24-32, 34, 38-39, 42-44, 46, 48, 50-52, 54-55, 58-60, 62, 64, 66-68, 70-71, 74-76, 78, 80, 82-84, 86, 88, 90-92, 94, 96, 98-100, 102-105

独立記念日特集号。他地域の模範となる施策を行う9地方自治体。各市長・県知事へのインタビューと地方分権ウォッチャー2名のコラム記事収録。

237

Memburu Noor Din M. Top – Terkecoh pria peziarah. (Nasional) Tempo 38(26) Aug. 23, 2009: p.196-200, 202, 204-206, 208

トゥマングンで射殺されたのはヌールディンではなくイブロヒム。一方、ジャカルタ近郊では大統領殺害を狙ったテログループのマジトを急襲。

238

Putusan Mahkamah Konstitusi mengedepankan kepentingan negara. (Fokus) Forum keadilan [19](18) Aug. 23, 2009: p.37-45

憲法裁が大統領選やり直しを求めた告訴を棄却。国家の利益を優先した政治的判決？混乱を減らすには総選挙法の再改正が必要？

239

Moh. Mahfud MD – “Tak ada lagi keberatan-keberatan.” (Wawancara) Forum keadilan [19](18) Aug. 23, 2009: p.60-64

2組の大統領・副大統領候補の告訴を退けた憲法裁。その理由を同裁判所長官に聞く。

240

Ketika pangeran Cendana ingin bersarang di beringin. (Forum utama) Forum keadilan 19 Aug. 30, 2009: p.11-22

スハルトの三男がゴルカル党党首選に出馬？同党の党首候補が富豪で政治権力を持ち、かつて法網に触れた者が多いのはなぜか。

241

Sikap berlebihan menangani terorisme.

(Fokus) Forum keadilan 19 Aug. 30, 2009: p.37-47

テロ対策で目立つ警察の過剰警戒。ヌールディン・トップ未逮捕を受け、国軍内で反テロ部隊を再編する動きが強まる。

242

Koalisi PDIP-Partai Demokrat – Kandang banteng di istana. (Laporan utama) Tempo 38(28) Sept. 6, 2009: p.26-34

親密さが増す民主主義者党と闘争民主党との関係。ユドヨノ大統領がトーフック・キマスの国民協議会議長就任を全面支持。闘争民主党を政権に取り込むのが狙い？

243

Oposisi hilang, masyarakat sipil tak terbilang. (Fokus) Forum keadilan [19](20) Sept. 6, 2009: p.37-45

急接近する与党・民主主義者党と野党・闘争民主党。チェック・アンド・バランス機能が消失？国会法務委員会委員に聞く。

244

Brigjen Pol (Pur) Suryadharma – “Kita cabut Indonesia dari daftar terorisme dunia.” (Wawancara) Forum keadilan [19](21) Sept. 13, 2009: p.60-64

テロにどう対峙すべきか。治安機関とマスコミとの対話のあり方は？元国家警察対テロ特別部隊司令官 (Kadensus88) に聞く。

245

Jenderal TNI (Purn) Abdullah Mahmud Hendropriyono – “Kalau masih seperti ini bom akan meledak lagi.” (Wawancara) Forum keadilan [19](22) Sept. 27, 2009: p.60-64

インドネシアは国際テロ活動にどう対処すべきか。テロ集団の活動の実態は？元国家情報機関長官に聞く。

246

Melacak jejak teroris – Bom waktu Noor Din M. Top. (Nasional) Tempo 38(32) Oct. 4, 2009: p.26-31

9月に殺害された大物テロリスト所有のラップトップ型コンピュータからアルカイダ系

テロリスト名が次々と判明。7月のホテル爆破に関与？

247

Njoto – Peniup saksofon di tengah prahara. (Liputan khusus) Tempo 38(33) Oct. 11, 2009: p.[48]-52, 54-58, [落帳]76, 78-85

インドネシア共産党幹部ニョトの生涯を振り返る。同党内の地位と役割、9.30事件への関与の有無などを検証。サクソフォンを演奏し、詩作を好んだ側面も紹介。

248

Kemenangan sponsor tunggal. (Nasional) Tempo 38(34) Oct. 18, 2009: p.27-30

第8回ゴルカル党全国大会でA. バクリが次期党首に選出。数10億ルピアが乱れ飛んだ金権選挙の結果？

249

Laode Ida – “Farhan harus mengundurkan diri.” (Wawancara) Forum keadilan [19](24) Oct. 18, 2009: p.60-64

地方代表議会は国民協議会の5人の副議長の1人として任命されたアチェ州の地方代表議会議員をなぜ問題視するか。ラオデ・イダ同議会副議長に聞く。

250

Kabinet RI 2009-2014 – Berebut naik biduk Cikeas. Tempo 38(35) Oct. 25, 2009: p.28-32, 34-36, 38-39

閣僚に選ばれるのは誰か。有力候補者を写真入りで解説。連立政党間の綱引きも激化？

251

Menteri pilihan Tempo – Kabinet impian Proklamasi 72. (Liputan khusus) Tempo 38(35) Oct. 25, 2009: p.[58]-60, 62, 64-74, 76, 78-88, 90, [92]-94, 96, 98-104, 106, [108]-112, 114, [116]-117

『テンポ』誌が選ぶ次期ユドヨノ内閣(2009-2014年)の閣僚22名。似顔絵や写真で人柄や経歴を紹介。誰がどのポストに？

252

Irman Gusman – “Gula saja tidak boleh dimonopoli, apalagi politik.”

(Wawancara) Forum keadilan [19](25)
Oct. 25, 2009: p.60-64

国民協議会副議長に地方代表議会のアチェ州代表議員のみが選出された法的問題点は何か。同議会議長に聞く。

253

Kabinet RI 2009-2014 – Kabinet matriks dan tuan rambut perak. (Laporan utama) Tempo 38(36) Nov. 1, 2009: p.28-32, 34, 36-42, 44

大統領が第2次ユドヨノ内閣の34人の閣僚を決定。ハッタ・ラジャサが経済担当調整相に。国民信託党から3名が入閣。組閣でハッタが果たした役割は何か。

254

Ingar bingar Kabinet Bersatu jilid dua. (Fokus) Forum keadilan [19](26) Nov. 1, 2009: p.37-45

第2次ユドヨノ内閣の大臣34人の内、専門家はわずか11人。連立与党からの入閣は多すぎるか。政治評論家と闘争民主党会派副議長に聞く。

255

Berebut jatah setengah kursi. (Nasional) Tempo 38(37) Nov. 8, 2009: p.27-32

もともとキャリア官僚のポストであった各副大臣の椅子を政党が狙うのはなぜか。内閣官房長官のポストは誰の手に。

256

Merekat cermin DPR yang terbelah. (Fokus) Forum keadilan [19](28) Nov. 15, 2009: p.37-45

無駄遣いや汚職の噂が絶えない国会予算。どこに問題があるのか。国会副議長と一NGOのコーディネータに聞く。

257

Benih munculnya parlemen jalanan. (Fokus) Forum keadilan [19](29) Nov. 22, 2009: p.37-45

警察と検察のトップと反汚職NGO連合を交えて開催された国会第3委員会で、汚職撲滅委員会副委員長の犯罪人への仕立て上げに関し結局何の結論も出ず。反汚職NGO連合

は公正感のなさや時間の浪費を批判。

258

Komplotan “penyamun” Century di sekitar SBY. (Forum utama) Forum keadilan [19](30) Nov. 29, 2009: p.11-22

センチュリー銀事件で、国政調査権を得るためにロビー活動を行う闘争民主党議員とそれをつぶそうとする民主主義者党議員。金融システム安定化委員会の議事録5枚のどこが問題か。

259

People power mengintai Susilo Bambang Yudhoyono. (Fokus) Forum keadilan [19](30) Nov. 29, 2009: p.37-45

汚職撲滅委員会副委員長2名が容疑者になって以来、ますます拡大する反政府デモ。副委員長支持者とマラリ事件当時の学生運動を率いたハリマン・シレガルに聞く。

260

Rumor liar yang mengusik presiden. (Forum utama) Forum keadilan [19](31) Dec. 6, 2009: p.11-22

大統領とセンチュリー銀の関係についての噂に対し、大統領自身が2日にわたって言及。民主主義者党が国政調査権を支持したのは後々の国政調査案件をつぶすため？

261

Titah-titah bapak presiden. (Fokus) Forum keadilan [19](31) Dec. 6, 2009: p.37-45

容疑者となった2名の汚職撲滅委員会副委員長問題の解決策を検討した8人委員会が、最終報告書を大統領に提出。大統領は裁判所外での解決を要請。

262

Bambang Widodo Umar – “Polri jangan di bawah presiden.” (Wawancara) Forum keadilan [19](31) Dec. 6, 2009: p.60-64

8人委員会の大統領への最終報告により、ススノに続く警察幹部の入れ替えが発生？警察大学校講師に聞く。

263

Hari Antikorupsi 2009 – Kabar gawat Sembilan Desember. (Nasional) Tempo 38(43) Dec. 20, 2009: p.35-38, 40-[41]

反汚職デーに大規模な反政府集会とデモが発生。センチュリー銀事件に絡み、副大統領と蔵相の辞任を要求。

264

Ketika “sopir tembak” mengemudikan pansus Century. (Forum utama) Forum keadilan [19](33) Dec. 20, 2009: p.11-22

センチュリー銀汚職疑惑事件関連国政調査特別委員会委員長にゴルカル党の若手議員が選出されたのはなぜか。追求の矛先が鈍る？

265

“Makar” yang tak jadi. (Fokus) Forum keadilan [19](33) Dec. 20, 2009: p.37-45

国際反汚職デーの大規模デモで心配された政府転覆活動や暴動は結局起こらず。大統領が恐れたシナリオは何か。

266

Angket Bank Century – Sepotong roti di langit Beringin. (Nasional) Tempo 38(44) Dec. 27, 2009: p.133-138

センチュリー銀事件国政調査委員会で副大統領と蔵相の停職を要求するゴルカル党議員。民主主義者党は隠されたシナリオがあると非難。

267

Akbar Tanjung – “Golkar tidak mengincar posisi wapres” (Wawancara) Forum keadilan [19](34) Dec. 27, 2009: p.58-62

センチュリー銀事件国政調査特別委員会では誰が喚問されるか。ゴルカル党顧問審議会議長に聞く。

2010年（政治）

268

NKRI, harga mati untuk Papua. (Fokus) Forum keadilan [19](35) Jan. 3, 2010: p.37-45

一向に止まないパプアの分離独立運動。政府はどう対処すべきか。パプア問題研究者に聞く。

269

Gurita Cikeas yang membikin resah. (Forum utama) Forum keadilan [19](36) Jan. 10, 2010: p.11-23

施政者たちが犯した汚職を批判し続ける社会学者の矛先が、今度はユドヨノ大統領とその周辺へ。出版物の発禁処分は国家による犯罪か。

270

Partai koalisi – Demokrat tak pernah sendiri. (Nasional) Tempo 38(49) Jan. 31, 2010: p.[29]-33

センチュリー銀国政調査特別委員会の6名のゴルカル党会派委員が、スリ・ムルヤニ蔵相を激しく批判。一方で同党と大統領は蔵相留任で合意？

271

SBY-Aburizal – Sekutu atau seteru. (Laporan utama) Tempo 38(53) Feb. 28, 2010: p.26-34

センチュリー銀国政調査特別委員会が3月4日に調査結果を提出予定。ゴルカル党はスリ・ムルヤニの罷免を画策か。活発化する政党間の駆引き。

272

Kebangkitan gerakan anti pemakzulan. (Forum utama) Forum keadilan [19](43) Feb. 28, 2010: p.11-23

正・副大統領の辞任要求を退けた連立与党。メガワティとプラボウォを利することを避けた？大統領辞任に関する憲法条文を点検する。

273

Hasil pansus Bank Century – Perkelahian di garis finish. (Laporan utama) Tempo

39(1) Mar. 7, 2010: p.28-34, 36-37
国会本会議で決定される副大統領と蔵相への処遇。国会内 4 会派は、両者がセンチュリー銀救済において逸脱があり、責任をとるべきと主張。連立政権に亀裂か。

274

Skandal Bank Century – Lumbia dingin di Hotel Sultan. (Politik) Tempo 39(2) Mar. 14, 2010: p.28-32, 34-36

国会本会議の投票で連立政権内の 3 会派がセンチュリー銀の救済策が適当でなかったと評価。翌日の大統領演説で、大統領は世界金融危機を背景に救済策は正しかったと主張。

275

Standar ganda memandang kasus Century. (Forum utama) Forum keadilan [19](45) Mar. 14, 2010: p.12-22

センチュリー銀関連汚職疑惑事件の調査結果において、資金の流れに触れなかった国会決議。連立与党 4 人の議員に聞く。

276

Misteri Dulmatin – Pria berjenggot di bilik sembilan. (Laporan utama) Tempo 39(3) Mar. 21, 2010: p.28-37

2002 年のバリ島爆弾テロ事件以来追跡してきたドゥルマティン容疑者とその一味が警察の急襲によりバンテン州で死亡。彼はアチェをどう変えようと考えていたか。

277

Penggerebekan teroris atau pengalihan isu? (Fokus) Forum keadilan [19](46) Mar. 21, 2010: p.37-45

国際指名手配されていたテロリスト・ドゥルマティンを警察特別部隊が射殺。アチェの組織との関係を探る。

278

Angkatan baru teroris – Bukan teror sarung dan peci. (Laporan utama) Tempo 39(4) Mar. 28, 2010: p.26-33

様々な経歴を持つグループが、アチェでアルカイダ系テロ組織を再編する動き。ドゥルマティンはアムロジの遺志を受け、チピナン刑務所を爆破しようとした？ドゥルマティン

配下のテロリストと逮捕された JI メンバーの関係を図示。

279

Partai mengemis kepada partai? (Fokus) Forum keadilan [19](49) Apr. 11, 2010: p.37-45

地方首長選の勝利を狙って著名なアーティストたちを候補にしようとする各政党。その背景を政治家 2 名と政治評論家 1 名に聞く。

280

Sejarah pamong praja penindas warga. (Fokus) Forum keadilan [20](1) May 2, 2010: p.39-47

地場で崇拜される人物の墓を移そうとした当局と住民との間で大規模な衝突。ジャカルタ首都特別州スポークスマンに聞く。

281

Guruh Soekarno Putra – “PDIP gawat darurat.” (Wawancara) Forum keadilan [20](1) May 2, 2010: p.60-64

闘争民主党内で常に単一の党首候補となるメガワティ。故スカルノ大統領の次男が同党の危機を解説。

282

Sri Mulyani – Bubur terakhir untuk bu menteri. (Laporan utama) Tempo 39(11) May 16, 2010: p.[94]-98, 100-105

ユドヨノ大統領が、世銀の要職へ就任するスリ蔵相の辞任を許可。背後でどのような政治的駆け引きがあったか。連立政権の維持が目的か。

283

Deal politik SBY-Ical – Koalisi jazz penyokong istana. (Laporan utama) Tempo 39(12) May 23, 2010: p.[26]-32

政府支持政党の会合で連立政党共同書記局が設立。A. バクリが常任議長に就任し、大臣たちを召還する権限を獲得。

284

Reformasi TNI – Satu dasawarsa turun panggung. (Liputan khusus) Tempo 39(12) May 23, 2010: p.59-65, 68-72,

74-79
 国軍が社会・政治機能を捨て去ってから10年経過したインドネシア。閣僚、州知事、国会議員に占める国軍出身者の割合はどう推移したか。

285

Partai Demokrat – ‘King maker’ 2014. (Politik) Tempo 39(13) May 30, 2010: p.27-30, 32-35
 第2回民主主義者党全国大会がバンドンで開催。党首に選出されるには大統領の義母の許可が必要条件？有力候補者2名に聞く。

286

Supremasi hukum di bawah dua tangan. (Forum utama) Forum keadilan [20](5) May 30, 2010: p.11-22
 大統領が連立政党共同書記局の設置構想を発表。司法権力が弱体化？国会第3委員会委員3名、NGO活動家、国法学者に聞く。

287

Partai Demokrat – Gembrot tapi lincah. (Politik) Tempo 39(14) June 6, 2010: p.27-30, 32-34
 民主主義者党の第2回全国大会でアナス・ウルバニルンを党首に選出。その勝利の背景を探る。氏へのインタビュー記事収録。

288

Pilkada membara di mana-mana. (Forum utama) Forum keadilan [20](6) June 6, 2010: p.11-22
 地方首长選で次々と発生する暴動。州知事は州議会が決めればよい？国会議長、地方代表議会議長、内務省広報部長に聞く。

289

Sensasi dana segentong babi. (Fokus) Forum keadilan [20](8) June 20, 2010: p.43-51
 ゴルカル党が地方の要望をかなえるために各国会議員用に振り分けられる資金の創設を提案。金権政治の正当化につながる？NGO代表と政治学者に聞く。

290

Irman Gusman – “Perlu evaluasi mendalam proses pemekaran.” (Wawancara) Forum keadilan [20](9) June 27, 2010: p.60-64
 スハルト政権崩壊後、急速に進む地方自治体の分立。地方自治体新設には厳格な評価基準が必要か。地方代表議会議長に聞く。

291

Andi Nurpati – Blunder atau balas budi. (Forum utama) Forum keadilan [20](10) July 4, 2010: p.11-22
 総選挙委員会の一委員が民主主義者党の幹部に抜擢。任期3年を残した退職に高まる非難の声。2007年法律第22号の退職関連条文はどのように解釈されたか。

292

Perjalanan suram politik korps baju hijau. (Fokus) Forum keadilan [20](10) July 4, 2010: p.37-45
 国会内の議席割当がなくなり、国軍関係者に2014年以降に選挙権を与える案が浮上。国会副議長と軍事評論家に聞く。

293

Dr. KH Said Aqiel Siradj, MA – “NU tak usah dukung-mendukung.” (Wawancara) Forum keadilan [20](11) July 11, 2010: p.60-645
 ナフダトゥール・ウラマは政治やテロリズムとどう向き合うか。サイド新総裁に聞く。

294

Metamorfosa angkatan kelima. (Fokus) Forum keadilan [20](12) July 18, 2010: p.37-45
 地方自治体の条例を強制的に実施する任務を持った警察部隊と彼らに武器を与える根拠となる内務大臣令。第5軍結成に懸念の声。

295

Ifdhal Kasim – “Perlu konsensus politik buat menegakkan HAM.” (Wawancara) Forum keadilan [20](12) July 18, 2010: p.60-64
 人権に対する重大な違反を犯した軍の将校たちや人権活動家ムニール殺害事件を国家人

権委員会委員長はどうみるか。議長に聞く。

296

Kandidat Kapolri – Hidup ‘sederhana’ kandidat kepala polri. (Laporan utama) Tempo 39(21) July 25, 2010: p.26-35

国家警察庁長官候補に挙げた 8 人の幹部。その内、5 名のプロフィールを紹介。国家警察委員会が求める要件と資質をジョコ・スヤント同委員長に聞く。

297

Prof. Dr. Din Syamsuddin – “Amien Rais dan PAN lebih banyak mengambil dari Muhammadiyah.” (Wawancara) Forum keadilan [20](13) July 25, 2010: p.60-64

ムハマディヤ議長に再任されたディン・シヤムスディン。氏に現政府との関係、テロに対する姿勢、他を聞く。

298

Adnan Pandu Praja, SH., LL.M – “Politik uang pemilihan Kapolri selalu ada.” (Wawancara) Forum keadilan [20](14) Aug. 1, 2010: p.58-62

次期警察庁長官候補を 8 人選出した国家警察委員会。その選出基準は何か。警察は大統領直属でなく内務省管轄に？同委員会事務局長に聞く。

299

Lukman Hakim Saifuddin – “Jangan terlalu mudah membentuk lembaga baru.” (Wawancara) Forum keadilan [20](15) Aug. 8, 2010: p.60-64

国民協議会、国会、地方代表議会の連立状況は三院制と呼べるか。直接首長選は協議と代議制に基づく民主主義を破壊しているか。国民協議会副議長に聞く。

300

Agung Laksono – “Konflik sosial bisa menjadi tsunami sosial.” (Wawancara) Forum keadilan [20](16) Aug. 15, 2010: p.60-64

社会格差や社会構造のゆがみなどから発生する紛争をどう防ぐか。紛争への対処法、事後処理などを示した法案の内容を国民福祉担

当調整相に聞く。

301

Edisi khusus Kartosoewirjo – Imam pemberontak dari Malangbong. (Laporan utama) Tempo 39(25) Aug. 22, 2010: p.22-24, 26, 28-32, 34, 36-38, 40-41, 43-46, 48, 50-52, 54-56, 58-62, 64-66, 58, 72-78, 80, 82-84, 86, 88-89

1940 年代の終わりから 60 年代の初めにかけて、イスラム国家樹立運動を指導したカルトスウィルヨの生涯を振り返る。運動の唯一の動機はレンヴィル条約への失望？死後も影響力を与えているのはなぜか。写真多数収録。

302

Setelah ada selebaran supaya densus 88 dibubarkan. (Forum utama) Forum keadilan [20](17) Aug. 22, 2010: p.11-22

テロ活動に加担し、大統領の安全を脅かしたとして、アブ・バカル・バアシルを逮捕。イスラム寄宿学校関係者と歴史学者に聞く。

303

Prof. Dr. Komaruddin Hidayat – “Jaringan teroris adalah keluarga, bukan pesantren.” (Wawancara) Forum keadilan [20](17) Aug. 22, 2010: p.24-28

イスラム寄宿学校が幹部テロリストを養成する場に？国立イスラム大学（ジャカルタ）学長に聞く。

304

Buka mata telinga penguasa. (Fokus) Forum keadilan [20](17) Aug. 22, 2010: p.43-51

首以外を地中に埋める、1000 キロ行進など政治願望を表明した極端なデモの形態。政治コミュニケーション研究家にその背景を聞く。

305

Mutasi pejabat polisi – Kader jenggot di gerbong mutasi. (Laporan utama) Tempo 39(26) Aug. 29, 2010: p.26-32, 34-35

警察庁幹部の大規模な人事異動の背景を探る。警察庁長官が重要な行事や会議を 3 回欠席したのはなぜか。大統領との会談内容は？

306

Luka lama dua masa – Bola liar dari si poltak. (Fokus) Forum keadilan [20](18) Aug. 29, 2010: p.41-49

与党から出た大統領任期延長を旨とする憲法改正提案。提案した議員と国法学者に聞く。

307

Bersarung tangan merangsek bank. (Kriminalitas) Tempo 39(27) Sept. 5, 2010: p.87-90

最近多発する銃器を使った強盗事件。約 4 億ルピアを強奪されたメダンの銀行強盗事件では犠牲者も。独立アチェ運動の元メンバーの犯行か。

308

KH Salahudin Wahid – “Anarkisme antar umat beragama wujud kegagalan pemerintah.” (Wawancara) Forum keadilan 20 Sept. 12, 2010: p.60-64

故ワヒド元大統領の実弟がイスラム急進派によるアフマディヤ教への暴力やキリスト教会焼討事件の背景を語ったインタビュー記事。

309

Tugas ruwet Kapolri dan Jaksa Agung baru. (Forum utama) Forum keadilan [20](21) Sept. 26, 2010: p.11-22

10 月中に決まる新しい警察庁長官と検事総長。ユドヨノ大統領は誰を指名？検察、警察、国会第 3 委員会委員に聞く。

310

Prof. Dr. J. E. Sahetapy, S.H., M.A. – “Ruhut itu badut demokrasi.” (Wawancara) Forum keadilan [20](21) Sept. 26, 2010: p.60-64

民主主義者党の一議員はなぜ大統領任期延長のための憲法改正を口にしたか。国家法律委員会委員長に聞く。

311

Kandidat Kapolri – Lampu kuning calon istana. (Politik) Tempo 39(31) Oct. 3, 2010: p.27-32

新警察庁長官候補名をまだ明らかにしない大統領。法と人権に反していない事が条件？

国会は大統領の推薦する候補を受け入れるか。

312

Jaringan teroris – Aksi jaringan sang gubernur militer. (Laporan utama) Tempo 39(31) Oct. 3, 2010: p.108-[115]

北スマトラの銀行強盗事件に関連して、警察の反テロチームがテロ組織のメンバーを逮捕。逃亡中のアブ・トルットは武器の専門家。

313

Darurat perampokan bersenjata. (Fokus) Forum keadilan [20](23) Oct. 10, 2010: p.37-45

ここ 2 カ月間頻発する銃器を用いた強盗事件。疑われるテログループの存在。強奪した資金はテロリストの訓練に使用？

314

Calon Kapolri baru – Berakhir di bintang Timur. (Laporan utama) Tempo 39(33) Oct. 17, 2010: p.[26]-32, 34

2 名の次期警察庁長官候補有力者を退け、ユドヨノ大統領が別の候補者を選出。過去の経歴に目立つ暴力とイスラム急進派との近さ。

315

Marzuki Alie – “Polisi jangan disuruh mencari uang.” (Wawancara) Forum keadilan [20](24) Oct. 17, 2010: p.60-64

新警察庁長官と新検事総長の選出に関し、国会副議長にインタビュー。国民の信頼を取り戻す警察改革はどうかされるべきか。

316

Ring 1 SBY – Kisah orang-orang istana. (Laporan utama) Tempo 39(35) Oct. 31, 2010: p.26-32, 34

発足から 1 年経過したユドヨノ＝ブディオノ政権。大統領を守ろうとする姿勢が国民との間に溝を生んだ？大統領特別スタッフ 8 人と報道官 2 人を顔写真入りで紹介。

317

Aktivis dari Tanah Abang. (Memoar) Tempo 39(35) Oct. 31, 2010: p.63-66, 68-70, 72

学生運動でスハルトを支持し、戦略国際間

題研究所の設立者の一人となつたユスフ・ワナンディの半生を振り返る。写真 10 葉収録。

318

Mencari bibit makar yang tersembunyi. (Forum utama) Forum keadilan [20](26) Oct. 31, 2010: p.11-22

国民の政府に対する信頼が低下？ユドヨノ＝プディオノ政権発足 1 周年記念に反政府デモが各地で発生。政府転覆に繋がる恐れは？

319

Amnesia politik ala penguasa. (Fokus) Forum keadilan [20](26) Oct. 31, 2010: p.37-45

人権関連 NGO 各グループが人権侵害事件への政府の不十分な取り組みを批判するデモを独立宮殿前で開催。政府の消極性の背景を探る。国際人権委員会への提訴は必要か。

320

Prof. Dr. Jimly Asshiddiqie, SH – “Kita terlalu royal memberi gelar pahlawan.” (Wawancara) Forum keadilan [20](27) Nov. 7, 2010: p.60-64

「国家英雄」の称号をスハルト、ワヒド両元大統領に与えるべきか。称号授与委員会の一委員に聞く。

321

Musso – Si merah di simpang republik. (Liputan utama) Tempo 39(37) Nov. 14, 2010: p.58-62, 64-68, 70-76, 78-83, 86-90, 92-97, 99-109

マディウン事件とは何だったか。その中心人物ムソとインドネシア共産党が辿った道を写真で回顧。独立戦争期に同党の戦略はどう変化したか。当時の重要人物スマルソノは謀反説を否定。コラム記事 2 本収録。

322

Mencari dalang teror Medan. (Kriminalitas) Tempo 39(37) Nov. 14, 2010: p.119-122

武装集団によるメダンの銀行強盗事件の黒幕とされるトニ・トガル。JI やアルカイダとどのように繋がっていたか。携帯で指示？

323

Remang-remang di gedung dewan. (Fokus) Forum keadilan [20](28) Nov. 14, 2010: p.37-45

自然災害が多発する中、外遊する国会議員たちに批判の声。1000 億ルピアを越す予算はどのように使われるか。国会官房長官に聞く。

324

Lamban di istana, telat di DPR – Siapa menggantung calon jaksa agung dan ketua KPK? (Forum utama) Forum keadilan [20](30) Nov. 28, 2010: p.11-23

まだ決まらない新検事総長と汚職撲滅委員会新委員長。大統領による候補者の提示が遅れる政治的背景は何か。両機関関係者、国会議員などへのインタビュー記事収録。

325

Golkar versus Demokrat – Gayus menjadi kartu truft. (Forum utama) Forum keadilan [20](31) Dec. 5, 2010: p.11-22

汚職疑惑事件を権力闘争の道具にするゴルカル党と民主主義者党。ガユスは後者の切り札？国会議員 3 名、汚職撲滅委員会スポークスマン、警察広報担当部長に聞く。

326

SBY melupakan jas merah – ‘Erupsi’ kedua di Yogyakarta. (Fokus) Forum keadilan [20](32) Dec. 12, 2010: p.37-45

ジョグジャカルタ特別州の「特別性」に関する法案をめぐる大統領発言に同州の多くの市民が反発。住民投票を求める気運も拡大。同州知事・副知事がスルタンとパク・アラム候であることは民主主義に反するか。

327

M. Afnan Hadikusumo – “Demokrat membuat RUUK DIY terkatung-katung.” (Wawancara) Forum keadilan [20](34) Dec. 26, 2010: p.60-64

ジョグジャカルタ特別州の首長公選制を拒否した同州議会。同州住民と選出区に王宮を持つ地方代表議会議員が現状維持を支持する背景は何か。特別州議会議員に聞く。

328

Pro-kontra gubernur Yogyakarta – Hip-hop
di halaman keraton. (Politik) Tempo
39(43) Dec. 26, 2010: p.27-30, 32-35

ジョグジャカルタ特別州の知事と副知事は
公選されるべきか。スルタンとパク・アラム
侯の指定席を取り去る法案に大規模反対デモ
が発生。識者 2 名によるコラム記事収録。